

滋賀県災害誌

第4部

1988年～1998年

(昭和63年～平成10年)

滋 賀 県

第4部の発刊にあたって

この滋賀県災害誌（第4部）は、第1部（古代～昭和40年）、第2部（昭和41年～昭和52年）、第3部（昭和53年～昭和62年）の滋賀県災害誌の後を補うべく、昭和63年から平成10年までの滋賀県下で発生した自然災害および事故災害の概要とその被害状況を各種の資料を基に取りまとめたものです。

昭和63年以降も本県におきましては、毎年のように風水害等の自然災害が起こっております。

また、本県では近年地震による大きな災害は起こっておりませんが、国内外を見ても平成7年の阪神・淡路大震災や平成11年のトルコ地震、台湾大地震など大地震が各地で発生しております。

県内には柳ヶ瀬断層や花折断層、比叡断層など多くの活断層が走っており、過去には姉川地震をはじめ、寛文地震や琵琶湖湖底が震源とされる文治元年地震など、幾度も地震に見舞われています。このことから、県域全体が地震予知連絡会の特定観測地域にも指定されており、特に大きな地震が発生する可能性が高いといわれております。

地震は今後も過去に起きたところで必ず起こるとも言われており、『自らの命、自らの地域は自らが守る』という防災の基本理念の啓発のためにも、改めて防災意識の高揚を図ることや過去の災害を認識することが大切であります。防災関係機関等におかれましては、本誌を活用いただき過去の災害学習や今後の防災対策の参考としていただければ幸いに存じます。

最後になりましたが、本誌の発刊に際し資料提供いただきました関係各位の皆様には、深く感謝の意を表します。

平成12年3月31日

滋賀県企画県民部長 今 堀 治 夫

(目次)

年次	月日	災害名	掲載ページ	人的被害			住宅	
				死者	行方不明	負傷者	全壊	半壊
昭和63年	2月7日～8日	雪害	17					
	4月18日	風害	16					
	6月2日～3日	豪雨	7					
	6月8日～7月16日	梅雨前線豪雨	9					
	8月15～16日	台風第11・13号	3				2	
	8月17～16日	雷害	19					
	9月11日～12日	大雨・雷雨	13					
	9月24日～25日	大雨	14					
	11月24日～30日	霜害	19					
平成元年	2月17日～18日	大雨	34					
	4月27日～29日	凍霜害	41					
	4月27日～29日	風浪	42					
	5月6日～7日	大雨	36					
	5月15日	風害	43					
	6月16日	大雨	37					
	7月10日	大雨	38					
	7月16日	強雨	40					
	7月22日	雷害	44					
	7月24日～25日	大雨	39					
	8月1日～2日	台風第12号	23					
	8月26日～28日	台風第17号	25				1	1
	9月2日～7日	豪雨	31					
	9月19日	台風第22号	28					
	9月22日	大雨	40					

被 害 (棟)			被 害 金 額 (千円)					
一 部 損 壊	床 上 水 浸	床 下 水 浸	農 林 水 産 施 設	土 木 施 設	文 教 施 設	そ の 他 公 共 施 設	そ の 他	総 額
							1,500	1,500
			3,193				3,193	3,193
			20,900	1,130,300			27,720	1,178,920
	3	216	129,200	1,788,670			112,064	2,029,934
		18	100,270	1,154,600		200	302,500	1,557,570
		17	4,000					4,000
	2							
							15,000	15,000
			4,500				542	5,042
			872,464					872,464
				437,000				437,000
							5,557	5,557
			118				118	118
			2,550					2,550
		7	15,400					15,400
			2,000					2,000
			14,000					14,000
				159,000				159,000
		1	320,740	1,183,500	10,710		347,094	1,862,044
	1	169	397,300	1,938,700				233,600
				1,000			100	1,100
1	1	11					350	350

(目次)

年次	月日	災害名	掲載ページ	人的被害			住宅	
				死者	行方不明	負傷者	全壊	半壊
2年	1月31日～2月1日	大雪	62					
	3月5日	土砂くずれ	65					
	5月8日	降ひょう	64					
	7月3日～4日	梅雨前線停滞による災害	60					
	7月24日～25日	大雨	58					
	9月11日～20日	台風第19号	47	1		2		
	11月29日	台風第28号	55					
3年	3月15日	雪害	78					
	5月5日	晩霜	79					
	5月14日	信楽高原鐵道列車衝突事故	81	42		614		
	7月15日～18日	大雨	75					
	8月30日	台風第14号	69					
	9月5日	落雷	80					
	9月27日～28日	台風第19号	72					
	10月6日～7日	大雨	76					
	4年	3月21日	風害	91				
7月19日		地すべり	93					
8月8日		台風第10号	85					
8月18～20日		台風第11号	88					
5年		2月2日	大雪	118				
	3月28日～29日	風浪	116					
	6月2日～3日	強風	115					
	6月19日	大雨	103					
	6月29日	大雨	105					

被 害 (棟)			被 害 金 額 (千円)					総 額
一 部 損 壊	床 上 水 浸	床 下 水 浸	農林水産 施設	土 木 施設	文 教 施設	その他公共 施設	その他	
			10,898					10,898
1							760	760
							16,911	16,911
				1,000				1,000
2		121	15,852	249,918	10,141		10,550	286,461
174	180	1428	3,343,025	10,494,890	126,825	232,237	8,086,066	22,283,043
		3	16,000	7,531			1,462	24,993
							162,665	162,655
							100,364	100,364
							2,000	2,000
		1		372,097				372,097
11					5,618	1,290	54,421	61,329
1							2,000	2,000
				53,296				53,296
	1	4	693,450	928,091			8,974	1,630,515
				337,324				337,324
			35,405				141,921	177,326
		7	85,561	280,239			346,000	711,800

(目次)

年次	月日	災害名	掲載ページ	人的被害			住宅	
				死者	行方不明	負傷者	全壊	半壊
5年	7月2日～3日	梅雨前線による大雨(1)	107					
	7月4日～5日	梅雨前線による大雨(2)	109				1	2
	8月2日～3日	大雨	111					
	8月18日～19日	大雨	113					
	9月3日～4日	台風第13号	97					
	9月8日～9日	台風第14号	99					
6年	2月2日～4日	大雪	135					
	2月11日～12日	大雪	137					
	2月21日	強風	133					
	2月26日	融雪	139					
	4月13日	強風	134					
	5月上旬～10月中旬	異常乾燥	140					
	7月7日～8日	大雨	128					
	9月16日～17日	大雨	129					
	9月28日～30日	台風第26号	123			4		3
7年	1月13日～15日	大雪	161					
	1月17日	兵庫県南部地震	148			9		
	1月30日～2月3日	大雪	163			2		
	2月10日～14日	大雪	165					
	2月21日	強風	160					
	4月21日	落雷	168					
	5月8日	ひょう害	168					
	5月11日～15日	大雨	152					
	7月20日～22日	停滞前線豪雨	150					

被 害 (棟)			被 害 金 額 (千円)					
一 部 損 壊	床 上 水 浸	床 下 水 浸	農林水産 施設	土 木 施 設	文 教 施 設	その他公共 施設	その他	総 額
	2	14	148,000	429,617			224,693	802,310
				23,067				23,067
				25,664				25,664
1			3,000	252,835		100	75,882	331,817
		14	108,500	200,965	5,356		355,203	670,024
			4,500				470	4,970
			6,000				9,435	15,435
							921	921
						145,000		145,000
							624,286	624,286
	1	4					27,000	27,000
		58	41,000	1,385,500				1,426,500
248	5	282	1,234,634	3,387,814	31,734	118,371		4,772,553
							33,325	33,325
91					6,272	24,836	28,770	59,878
5							720	720
			6,100				9,335	15,435
							920	920
			2,000					2,000
			2,100					2,100
		39	419,603	2,274,089		26,444	100,899	2,821,035
		33	5,980	1,150		206	1,050	8,386

(目次)

年次	月日	災害名	掲載ページ	人的被害			住宅		
				死者	行方不明	負傷者	全壊	半壊	
7年	7月2日～6日	大雨	156						
	9月17日	台風第12号	145						
	12月24日～27日	大雪	165	1		1			
8年	1月8日～10日	大雪	181						
	2月2日～5日	大雪	183						
	3月1日	土砂くずれ	187						
	5月22日	降ひょう	186						
	6月24日～26日	豪雨	176						
	7月3日	落雷	186						
	8月14日～15日	台風第12号	171						
	8月21日	雷雨	180						
	8月27日～29日	秋雨前線豪雨	177						
	9月21日～23日	台風第17号	174						
	10月30日	濃霧	187						
	12月3日	融雪	185						
	9年	1月21日～23日	強風・大雪・低温	210					
		1月26日	なだれ	212	1		3		
		2月21日～22日	大雪	213					
5月8日		大雨	203						
5月20日		降ひょう	217						
6月19日～20日		台風第7号	192						
6月28日～29日		台風第8号	195						
7月7日～13日		梅雨前線による 大雨・強風	204						
7月26日～28日		台風第9号	197						

被 害 (棟)			被 害 金 額 (千円)					
一 部 損 壊	床 上 水 浸	床 下 水 浸	農林水産 施設	土 木 施設	文 教 施設	その他公共 施設	その他	総 額
3	1	15	135,070	173,142			1,820	310,032
							9,119	9,119
2			39,653			50	110,300	150,003
				190,364				190,364
			3,000				31,866	34,866
				2,000				2,000
			76					76
1				6,430		200	11,180	17,810
1	2	88	65,100	138,719		3,000	226,834	433,653
			33,053					33,053
			85				3,718	3,803
		5						
							1,102	1,102
				31,741			1,710	33,451
			3,000					3,000
		44	96,300	401,807				498,107
3			20,075	121,496	647	2,131	32,308	176,657

(目次)

年次	月日	災害名	掲載ページ	人的被害			住宅	
				死者	行方不明	負傷者	全壊	半壊
9年	8月4日～5日	大雨	207	1		1		1
	9月16日～17日	台風第19号	200					
	11月29日	落雷	218					
	12月2日～3日	雪害	215					
10年	2月21日	強風	236					
	3月7日	強風	236					
	5月12日～13日	豪雨	232					
	6月19日～23日	豪雨	233					
	8月21日	雷害	238					
	8月26日～31日	大雨	235					
	9月21日～23日	台風第7・8号	221	3		22		4
	10月15日～18日	秋雨前線・ 台風第10号	227			2		
	資料編							
	付録							

昭和63年

(1988年)

気象概況

昭和63年の天候は1月の暖冬で始まり、2月に入った途端に強い冬型気圧配置となり次々と大陸から強い寒気団が押し寄せ、北部を中心に大雪となった。3月中旬頃から春らしい陽気が現われ始め、桜(ソメイヨシノ)の開花は4月7日で平年(4月5日)より2日遅くなった。5月下旬に入ると梅雨の走りが現われ、近畿地方は6月8日、平年(6月8日)並みに梅雨入りした。しかし7月に入ってもオホーツク海高気圧の勢力が強く、日本付近に前線が多く停滞し、近畿地方は7月31日、平年(7月17日)より14日遅く、しかも昭和26年の観測以来もっとも遅い梅雨明けとなった。このため彦根での梅雨期間中の降水量は641.0mmで平年(412.3mm)比は155%であった。8月に入っても太平洋高気圧の張り出しは弱く、日本の南海上で次々と熱帯低気圧が発生し、このため大気が不安定となり雷雨が多く発生した。9月下旬には四国沖に停滞した前線を低気圧が東進し、大雨を降らせた。10月中旬に早くも冬型気圧配置となりしぐれが現われたが、特に月末の10月29日には強い寒気の流入で比良山(平年11月26日)、10月30日は伊吹山(平年11月22日)で、平年より早い初冠雪を記録した。12月に入ると中旬には強い冬型気圧配置となり、彦根では12月15日、平年(12月7日)より8日遅い初雪となった。又、12月16日には彦根で15cmの積雪となり、平年(12月22日)より6日早い初積雪を観測した。その他10月頃より少雨傾向が顕著となり、12月2日彦根地方気象台は少雨に関する情報を発表した。

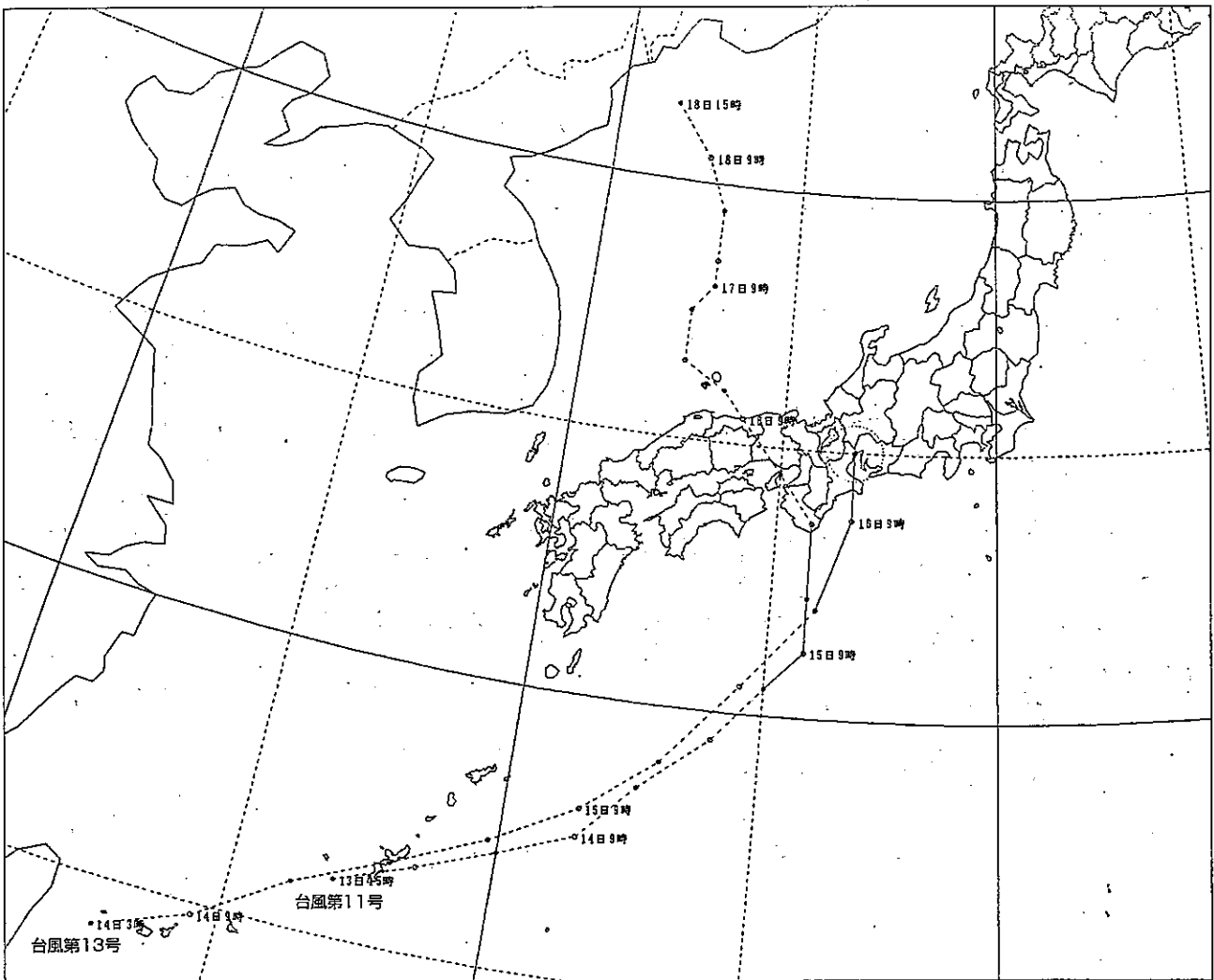


台 風

(1) 台風の概況

高緯度に発生した台風が多く、台風発生数は31個で平年(1951年~1980年)の年間発生数26.9個を上回った。第1号は1月に発生し、7月までの発生数は7個で平年より約2個少ない。8月から10月には平年の発生数を上回り、この3ヶ月で21個の台風が発生した。特に8月と9月は平年を3個上回り、8月には台風第11号と第13号の2個が日本に上陸したが、上陸後すぐに弱い熱帯低気圧に変わった。

【日本に影響のあった台風の経路】



《彦根地方気象台における極値》

台 風 番 号	最 低 気 圧	最 大 風 速	最 大 瞬 間 風 速
台風第11号	1007.7hPa	S E 6.1m/s	E 12.9m/s
台風第13号	1005.1hPa	E S E 6.5m/s	E S E 14.3m/s

(2) 災害の状況

◆台風第11・第13号(8月15日~16日)

I 気象の概要

◇台風第11号

8月13日15時、沖縄近海に発生した弱い熱帯低気圧は東北東から北東に進み、15日3時に潮岬の南およ

そ350kmの海上で台風第11号となった。台風は向きを北に変え、15日20時頃、紀伊半島の潮岬付近に上陸し15日21時に弱い熱帯低気圧となり、その後北西に進み日本海に抜けた。北緯30度以北で台風となったもので、最盛期でも中心気圧は998hPaであった。彦根における最低気圧は1007.7hPa（15日16時20分）、最大風速は南東の風6.1m/s（15日15時00分）、最大瞬間風速は東の風12.9m/s（15日22時14分）であった。

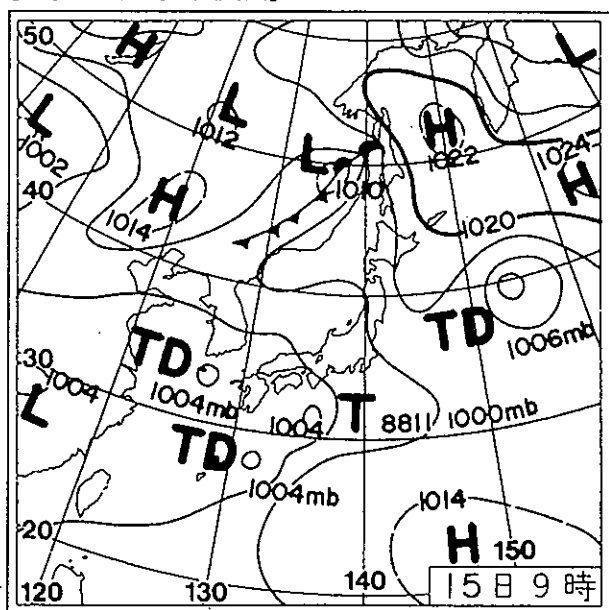
◇台風第13号

8月14日3時、台湾の東海上で発生した弱い熱帯低気圧は東北東から北東に進み16日3時に潮岬の南およそ170kmの海上で台風第13号となった。台風は北に向きを変え志摩半島を通過し、16日15時30分ころ木曾川河口付近に上陸した。16日16時には弱い熱帯低気圧に変わり、その後消滅した。北緯30度以北で台風となったもので、最盛期でも中心気圧は1000hPa、台風期間はわずか13時間であった。彦根における最低気圧は1005.1hPa（16日15時20分）、最大風速は東南東の風6.5m/s（16日8時00分）、最大瞬間風速は東南東の風14.3m/s（16日7時59分）であった。

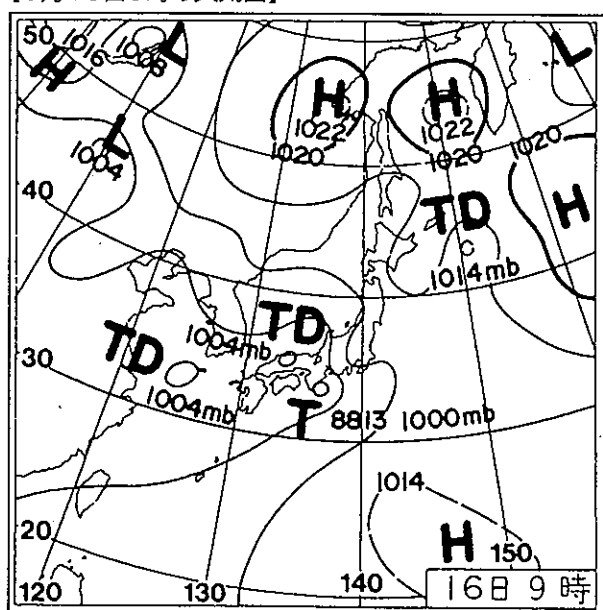
◇大雨（8月15日～16日）

台風第11号・台風第13号や台風から変わった弱い熱帯低気圧の影響で県内は15日夜半前から雨が降り出した。15日から16日の県内の降水量は土山で208mmに達した。その他の地域でも60～100mmの所が多く、県の南部を中心に大雨による被害が発生した。

【8月15日9時の天気図】



【8月16日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

8月15日夜半から降り始めた雨は、深夜から激しくなり、比良鈴鹿山系において時間雨量が20mmを越える強い雨を記録した。中でも、湖西甲賀地方中心に激しい雨に見舞われ最大24時間雨量は、大津市（葛川）で143.5mm、土山町（大河原）で290.0mm、土山町（北土山）で187.0mmと豪雨を記録した。又最大時間雨量も大津市（葛川）で24.0mm、土山町（北土山）で26.5mmで、特に土山町（大河原）では22.0mm～41.0mmの強い雨が16日午前0時から6時にかけて連続して降った。この雨も16日の昼前には小雨となり、雨は収まったかのように思われたが、紀伊半島沖にあった弱い熱帯低気圧が再び勢力を強めて台風第13号になり北上したために、県下では再び彦根、長浜地域を中心に時間雨量20mmを越す強い雨に見舞われ、最大時間雨量は、彦根市で21.0mm、長浜市で25.0mmを記録した。

この豪雨により、甲賀地域の河川は増水し、各所で溢水、氾濫し、主要な道路が崩土、路肩欠損等により通行止めとなった。

《気象台観測所雨量》

単位(mm)

地域気象観測所における降水量

(8月15日22時~16日16時)

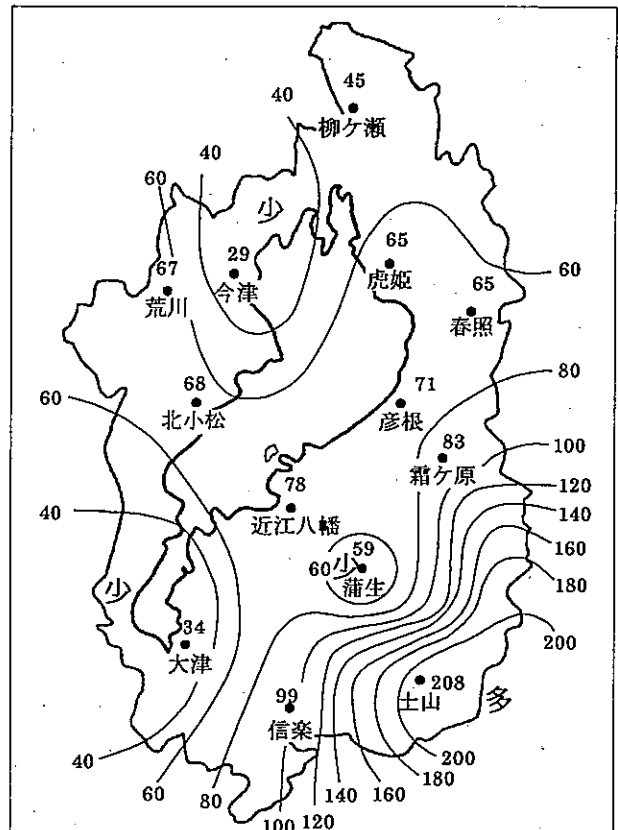
観測所	日	15日	16日	計
柳ヶ瀬		-	45	45
今津		-	29	29
虎姫		-	65	65
荒川		-	67	67
春照		4	61	65
北小松		-	68	68
彦根		1	70	71
近江八幡		3	75	78
霜ヶ原		5	78	83
蒲生		2	57	59
大津		2	32	34
信楽		10	89	99
土山		20	188	208

--なし

【降水量分布図】

単位(mm)

(8月15日22時~16日16時)



Ⅲ 出水の状況

甲賀地域の各河川は、増水し警戒水位を突破する河川が続出し、小河川では各所で溢水、氾濫し、家屋の床下浸水、田畑の冠水等被害が発生した。

《主要河川水位表》

河川名	観測所	観測所名	警戒水位(m)	最高水位(m)	日時
杣川	多喜橋上流右岸	水口土木	2.90	3.10	8月16日07時
杣川	北杣橋下流左岸	水口土木	3.00	3.36	8月16日08時
田村川	前川橋上流右岸	水口土木	1.80	2.20	8月16日07時
野洲川	柏貴	水口土木	0.50	0.77	8月16日07時

Ⅳ 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種類	発表時刻	発表・切替・解除
雷注意報	15日05時15分	発表
強風(ピワコ)・雷注意報	15日15時40分	切替
(南部)大雨・洪水・雷注意報	15日22時20分	〃
大雨・洪水・雷注意報	16日00時05分	〃
(南部)洪水注意報	16日10時10分	〃
強風・大雨・洪水・雷注意報	16日12時40分	〃
強風・大雨・洪水・雷注意報	16日16時30分	解除

(イ) 気象情報

◇台風第11号

種 類	発 表 時 刻
台風に関する情報第1号	15日16時30分
台風に関する情報第2号	15日21時50分

◇台風第13号

種 類	発 表 時 刻
台風に関する情報第1号	16日12時00分

(ウ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	配 備 ・ 切 替 ・ 解 除
第1号警戒体制	15日05時15分	配備
〃	16日16時30分	解除

V 被害状況

(ア) 住家被害

区 分	棟	世帯	人	被災市町村(棟・世帯・人)	
住家被害	全壊	2	1	6	土山町(2・1・6)
	床下浸水	18	18	84	甲西町(10・10・50) 土山町(3・3・10) 甲南町(2・2・8) 日野町(3・3・16)

(イ) 農林水産・土木関係被害

区 分	ha	箇所	被災市町村(ha、箇所)
畑	冠水	5	甲賀町(5)
その他	道路	17	甲西町(2) 土山町(6) 甲賀町(2) 甲南町(6) 日野町(1)
	河川	36	甲西町(1) 水口町(9) 土山町(19) 甲賀町(3) 甲南町(4)
	崖くずれ	8	土山町(2) 甲賀町(1) 甲南町(2) 日野町(2) 永源寺町(1)
	鉄道不通	3	水口町県事務所管内(3)

(ウ) り災者数・り災世帯数

名 称	り災規模		被災市町村
り災世帯数	世帯	1	水口町県事務所管内
り災人数	人	6	

(エ) 被害金額

区 分	金額(千円)
農林水産業施設	100,270
公共土木施設	1,154,600
その他の公共施	200
〈小 計〉	1,255,070
その他	302,500
〈被害総額〉	1,557,570

2

豪 雨

(1) 豪雨の状況

2日から3日にかけて前線を伴った低気圧が西日本を通過、これに台風第2号の暖湿気流が西日本に入って大気が不安定となり、県内で100~160mmの大雨となった。

(2) 災害の状況

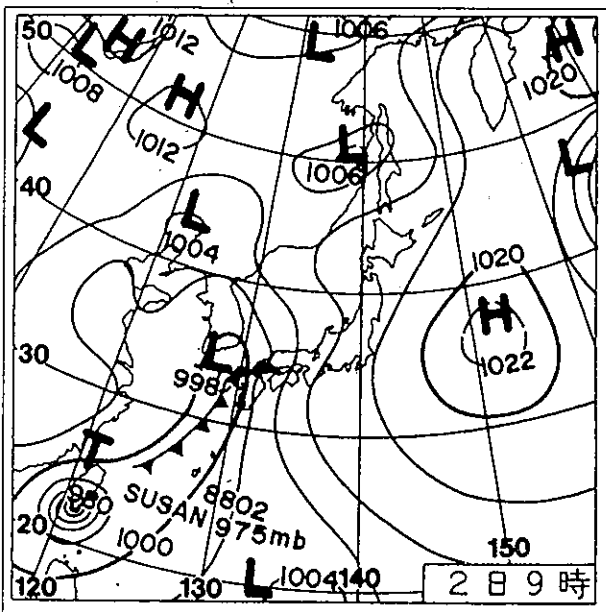
◆豪雨(6月2日~3日)

I 気象の概況

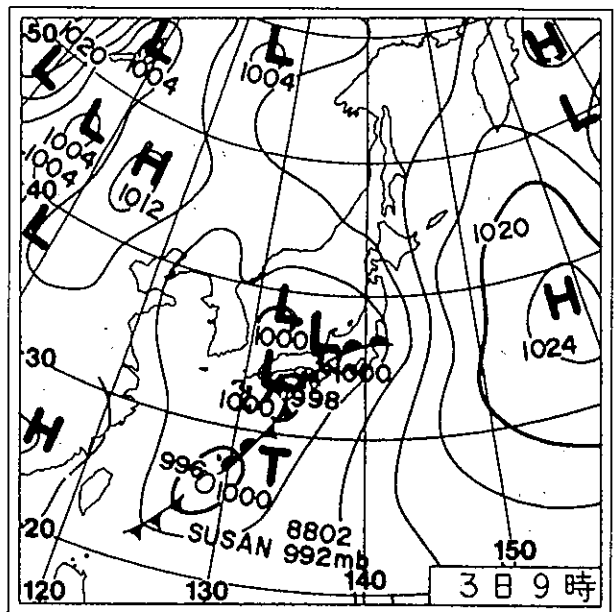
沖縄の南東海上を進む中型の台風2号により刺激された前線が活発化し、西日本では6月2日から3日にかけて強い雨に見舞われた。県下でも6月2日明け方から降り始めた雨は、断続的に降り続き、同日夕刻には本降りとなり、強い雨と風の恐れがあることから、彦根地方気象台では、16時25分に「大雨・洪水・雷・強風注意報」を発表し、注意を促した。その後、3日06時15分に「大雨・洪水・注意報」に切替、更に15時50分、低気圧の接近で激しい雨が降り、降水量も多くなるとの予想で「大雨・洪水警報」を発表した。

この激しい雨も、3日17時50分頃には弱まり、発表中の警報は19時40分に注意報に、更に22時30分には解除され、雨は夜半には収まった。

【6月2日9時の天気図】



【6月3日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

6月2日明け方から降り始めた雨は、3日17時頃から時間雨量10mmと断続的に強く降り続き、県下全域において24時間連続雨量は80mmを越える豪雨となり、特に大津市(途中)で147.5mm、彦根市で89.0mm、木之本町(杉野)で93.0mmを記録した。

この豪雨により、県下の河川は増水し、各所で溢水、氾濫し、主要な道路での崩土、路肩欠損等による通行止めとなった。

《気象台観測所雨量》

単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

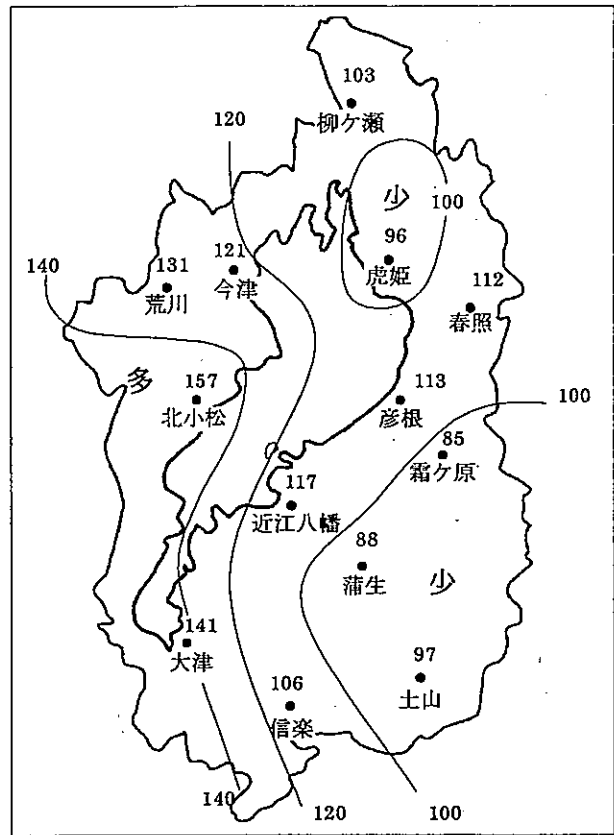
(6月2日～3日)

観測所	日	2日	3日	計
柳ヶ瀬		24	79	103
今津		40	81	121
虎姫		19	77	96
荒川		47	84	131
春照		32	80	112
北小松		66	91	157
彦根		21	92	113
近江八幡		28	89	117
霜ヶ原		16	69	85
蒲生		20	68	88
大津		32	109	141
信楽		33	73	106
土山		36	61	97

【降水量分布図】

単位 (mm)

(6月2日～3日)



Ⅲ 出水の状況

1級河川天野川、高時川、佐久良川で通報水位、警戒水位を突破すると共に、小河川の氾濫や河岸の欠損が相次ぎ、田畑の冠水等の一般被害及び河岸欠損、道路の法面崩壊、路肩の欠損等、公共土木施設災害が発生した。

《主要河川水位表》

河川名	観測所	直轄県土木事務所名	警戒水位 (m)	最高水位 (m)	日時
真野川	真野川橋	大津土木	1.50	1.60	6月03日18時
童子川	八夫	草津土木	1.80	1.90	6月03日18時
佐久良川	市子橋	八日市土木	1.20	1.30	6月03日09時
天野川	天野川橋詰左岸	長浜土木	1.50	2.40	6月03日19時
高時川	川合	木之本土木	2.70	2.80	6月03日21時

Ⅳ 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種類	発表時刻	発表・切替・解除
大雨・洪水・雷・強風注意報	2日16時25分	発表
大雨・洪水注意報	3日06時15分	切替
大雨・洪水警報	3日15時50分	〃
大雨・洪水注意報	3日19時40分	〃
大雨・洪水注意報	3日22時30分	解除

(イ) 気象情報

種 類	発 表 時 刻
大雨に関する情報第1号	3日11時20分
大雨に関する情報第2号	3日17時15分

(ウ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	配備・切替・解除
第1号警戒体制	2日16時25分	配備
第2号警戒体制	3日15時50分	切替
	3日22時30分	解除

V 被害状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区 分	ha	箇所	被災市町村 (ha、箇所)
田 冠 水	79		能登川町(1) 長浜県事務所管内(3) マキノ町(3) 安曇川町(40) 新旭町(32)
畑 冠 水	11.65		長浜県事務所管内(11.65)
そ の 他	道 路	31	大津市(2) 彦根県事務所管内(1) 長浜市県事務所管内(4) 草津(4) 水口(5) 八日市市(8) 木之本町(7)
	橋りょう	1	余呉町(1)
他	河 川	84	大津市(10) 土山町(1) 甲賀町(1) 信楽町(7) 日野町(6) 彦根県事務所管内(8) 草津市(6) 水口町(9) 八日市市(12) 長浜市(17) 木之本町(17) 今津町(5)
	崖くずれ	5	土山町(1) 甲賀町(1) 甲南町(2) 安曇川町(1)

(イ) 被害金額

区 分	金額 (千円)
農林水産業施設	20,900
公共土木施設	1,130,300
〈小 計〉	1,151,200
農産被害	720
その他	27,000
〈被害総額〉	1,178,920

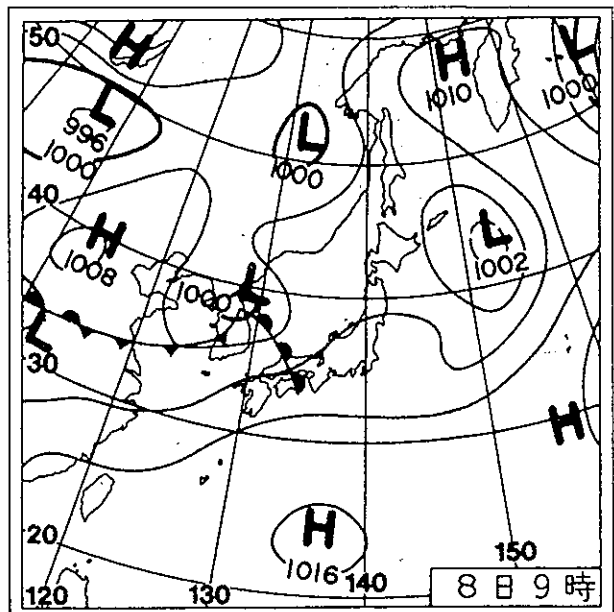
◆梅雨前線豪雨(6月8日~7月16日)

I 気象の概要

6月8日に前線を伴った低気圧が日本海中部に進んで滋賀県は朝から雨が降り出し、8日の日降水量は50~100mmに達した。この低気圧の東進に伴って9日早朝、梅雨前線が南下したが、この南下の際に激しい雨が降り、蒲生では7時~8時の1時間に54mmを観測した。県内の8日~9日の降水量は一部を除き100~170mmに達した。

7月14日から15日にかけて、低気圧が朝鮮半島から日本海に進み、梅雨前線も西日本まで南下した。この前線に暖湿気流が流れ込んで前線の活動が活発になり大雨となった。16日早朝まで県内の降水量はほとんどのところが130~220mmに達した。

【6月8日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 TD=熱帯低気圧 T=台風

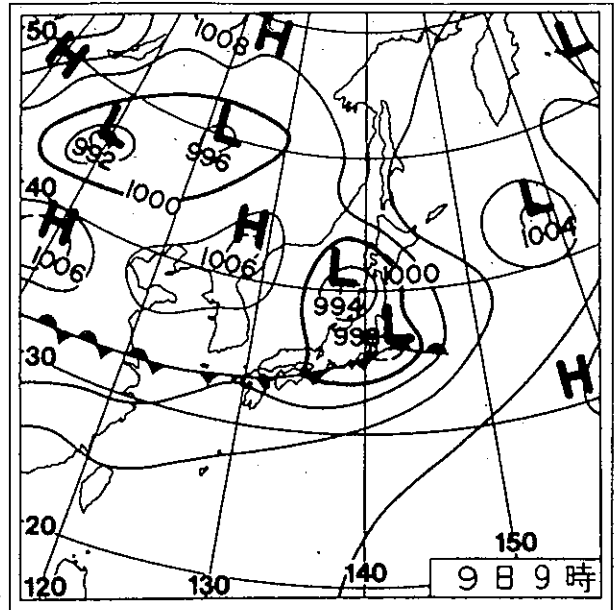
II 降雨の状況

6月8日午前中から降り始めた雨は、次第に雨足が激しくなり、夜半までに県内各地で50mm～80mmの降雨量となった。その後、一旦小康状態になったものの、再び雨足が強まり、9日未明には県内各地において、時間雨量が20mmを越える激しい降雨を記録した。中でも、野洲町、近江八幡市、竜王町、八日市市、日野町、永源寺町などでは時間雨量30mmを越えるものであり、特に蒲生町では午前7時から8時までの1時間に54mmという豪雨を記録した。

その後も、雨は断続的に降り、8日午前9時からの連続24時間雨量は、県下各地で80mmを越え、中でも野洲町(150mm)、蒲生町(156mm)、近江八幡市(136mm)、今津町(172.5mm)、マキノ町(122.5mm)では120mmを越す豪雨であった。

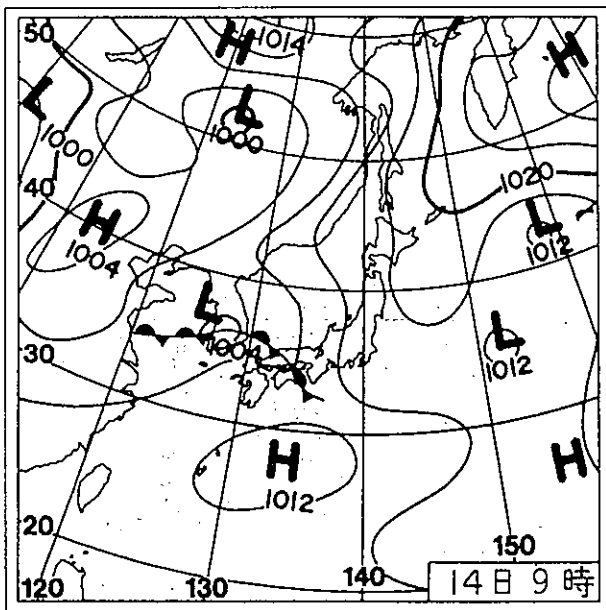
これらの集中豪雨により、県下の河川は増水し、各所で溢水氾濫し、床下浸水等の被害が発生した。また、国道や県道において崩土、冠水等により通行止め箇所が相次いで発生した。

【6月9日9時の天気図】

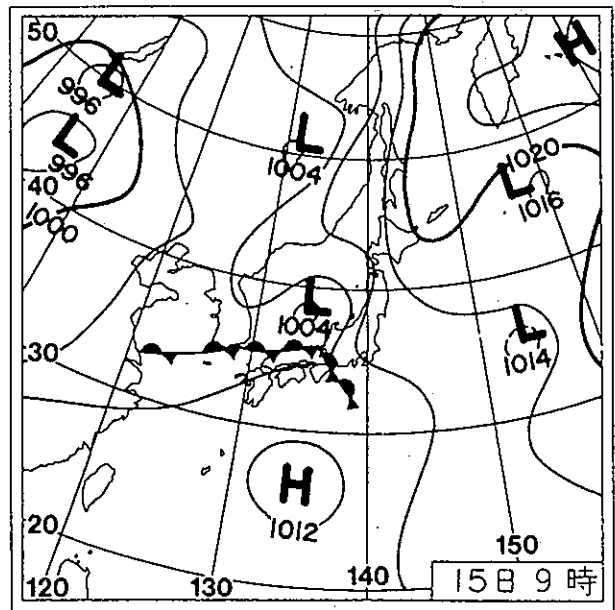


※L=低気圧 H=高気圧 TD=熱帯低気圧 T=台風

【7月14日9時の天気図】



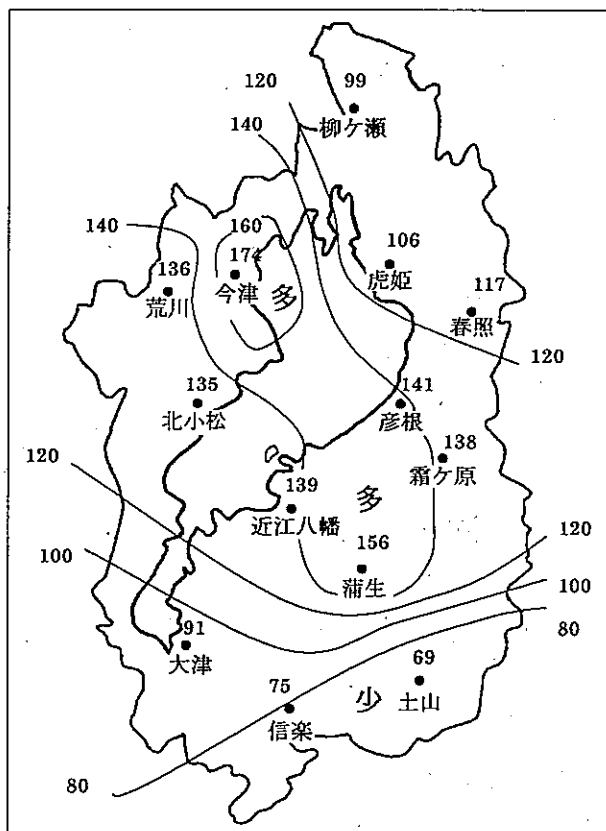
【7月15日9時の天気図】



《気象台観測所雨量》 単位(mm)
地域気象観測所における降水量
(6月8日~9日)

観測所	8日	9日	計
柳ヶ瀬	66	33	99
今津	106	68	174
虎姫	65	41	106
荒川	83	53	136
春照	64	53	117
北小松	79	56	135
彦根	87	54	141
近江八幡	59	80	139
霜ヶ原	68	70	138
蒲生	51	105	156
大津	56	35	91
信楽	50	25	75
土山	41	28	69

【降水量分布図】 単位(mm)
(8日~9日)



Ⅲ 出水の状況

県下の河川は増水し、警戒水位を突破する河川が続出し、各所で溢水氾濫し、床下浸水等の被害が発生した。滋賀県南東部の蒲生町、竜王町の法教寺川では河川水位の上昇が著しく、溢水氾濫し、道路の冠水や田畑の冠水等の一般被害をはじめ、河岸欠壊など公共土木施設に甚大な被害が発生した。

《主要河川水位表》

河川名	観測所	真 轄 県 土木事務所名	警戒水位(m)	最高水位(m)	日 時
日野川	桐原橋	八日市土木	3.00	4.95	6月9日11時
愛知川	紅葉橋	八日市土木	2.20	2.71	6月9日10時
高時川	川合	木之本土木	2.70	2.74	6月9日09時
余呉川	西柳野	木之本土木	2.80	2.88	6月8日22時
石田川	弘川	今津土木	1.80	1.82	6月9日05時

Ⅳ 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発表時刻	発表・切替・解除
大雨・洪水注意報	8日13時20分	発表
洪水注意報	8日22時30分	切替
大雨・洪水・雷注意報	9日02時10分	〃
大雨・洪水警報・雷注意報	9日04時30分	〃
洪水警報	9日09時50分	〃
洪水注意報	9日15時00分	〃
〃	9日18時00分	解除

(イ) 気象情報

種 類	発 表 時 刻
大雨に関する情報第1号	8日20時15分
大雨に関する情報第2号	9日06時30分
大雨に関する情報第3号	9日08時20分

(ウ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	配 備 ・ 切 替 ・ 解 除
第1号警戒体制	8日13時20分	配備
第2号警戒体制	9日04時30分	切替
第1号警戒体制	9日15時00分	〃
	9日18時00分	解除

V 被害の状況

(ア) 住家被害

区 分	棟	世帯	人	被災市町村(世帯・棟・人)	
住家被害	床上浸水	3	3	6	近江八幡市(3・3・6)
	床下浸水	216	216	851	守山市(16・16・64) 近江八幡市(74・74・300) 八日市市(88・88・340) 蒲生町(3・3・7) 日野町(22・22・88) 竜王町(6・6・17) 永源寺町(1・1・5) 五個荘町(1・1・7) 甲良町(1・1・1) 新旭町(3・3・17) 甲南町(1・1・5)
非住家	公共建物	1			竜王町(1)
	その他	22			日野町(20) 竜王町(2)

(イ) 農林水産・土木関係被害

区 分	ha・箇所	被災市町村(ha・箇所)	
田	流失・埋没	0.584	八日市市(0.045) 安土町(0.2) 日野町(0.065) 竜王町(0.07) 永源寺町(0.2) 高島町(0.004)
	冠 水	755.79	守山市(28.5) 中主町(10.7) 野洲町(91.3) 近江八幡市(24) 八日市市(103.5) 安土町(94.8) 蒲生町(12.5) 竜王町(71.63) 永源寺町(2) 五個荘町(1.8) 彦根市(100) 愛知川町(0.5) 長浜市(8.16) 米原町(20.6) びわ町(65) マキノ町(18) 今津町(15) 安曇川町(56) 甲西町(20) 新旭町(0.3) 日野町(7.5) 能登川町(4.0)
畑	冠 水	154.6	中主町(17.6) 安土町(7.5) 秦荘町(21) 米原町(10.0) びわ町(38) 甲西町(3) 水口町(12) 土山町(5) 甲賀町(28) 甲南町(10) 信楽町(10)
そ の 河 川	道 路	49	守山市(1) 栗東町(2) 野洲町(1) 八日市市(2) 蒲生町(6) 日野町(8) 竜王町(1) 永源寺町(8) 愛東町(1) 米原町(2) 木之本町(1) 水口町(2) 甲南町(2) 信楽町(4) 多賀町(4) 長浜市(3) 近江八幡市(1)
	河 川	68	蒲生町(4) 日野町(19) 竜王町(1) 永源寺町(1) 高島町(2) 今津町(11) 守山市(2) 甲西町(2) 甲賀町(8) 甲南町(6) 信楽町(10) 野洲町(1) 彦根市(1)
他	崖くずれ	36	甲南町(1) 近江八幡市(2) 八日市市(6) 蒲生町(2) 日野町(15) 竜王町(3) 彦根市(3) 栗東町(1) 信楽町(1) 愛東町(1) 高島町(1)
	鉄道不通	1	八日市市(1)
	ブロック塀	1	八日市市(1)

(ウ) 罹災者数・罹災世帯数

名称	罹災規模	被災市町村
罹災世帯数	世帯 1	五個荘町(1・7)
罹災人数	人 7	

(エ) 被害金額

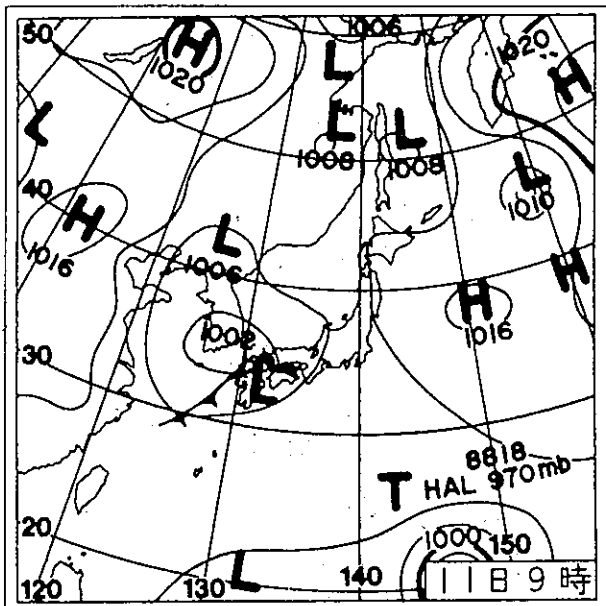
区分	金額(千円)
農林水産業施設	129,200
公共土木施設	1,788,670
〈小計〉	1,917,870
農産被害	28,464
その他	83,600
〈被害総額〉	2,029,934

◆大雨・雷雨(9月11日~12日)

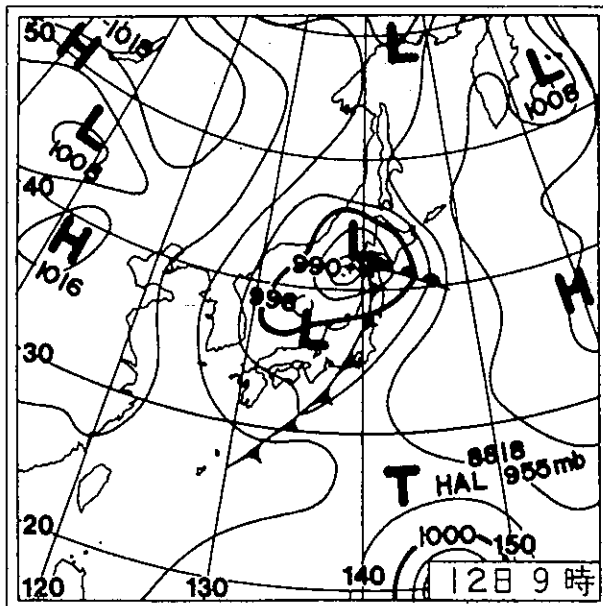
I 気象の概要

11日、前線を伴った低気圧が発達しながら日本海を北東進し雨が降った。また夜半頃には寒冷前線の南下により県内の所々で雷を伴う激しい雨が降った。

【9月11日9時の天気図】



【9月12日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 TD=低気圧 T=低気圧

II 降雨の状況

12日01時までの1時間に蒲生で48mmを観測したが、県内の11日から12日の降水量は10~55mmだった。

III 被害の状況

(ア) 住家被害

区分	棟	世帯	人	被災市町村(棟・世帯・人)
床下浸水	17	17	81	水口町(5・5・22) 日野町(12・12・59)
非住家 その他	1			日野町(1)

(イ) 農林水産・土木関係被害

区分	箇所	被災市町村(ha、箇所)
その他	河川	1 日野町(1)
	崖くずれ	1 日野町(1)

(ウ) 電話・電気

区分	回線	戸	被災市町村(回線、戸)
電話 (不通)	480		大津市(77) 彦根市(136) 近江八幡市(23) 八日市市(85) 長浜市(18) 草津市(70) 水口町(45) 今津町(8) 近江日町(18)
電気 (停電)		15,930	彦根市(300) 愛知川町(450) 竜王町(300) 守山市(960) 草津市(2,500) 栗東町 (1,200) 大津市(900) 豊郷町(1,420) 多賀町(4,900) 甲良町(300) 五個荘町(1,200) 甲西町(1,200) 信楽町(300)

(工) 被害金額

区分	金額(千円)
農林水産業施設	4,000
《被害総額》	4,000

◆大雨(9月24日~25日)

I 気象の概要

24日から25日にかけて四国沖の秋雨前線上を低気圧が東進、台風やこの台風から変わった弱い熱帯低気圧から日本付近に暖湿気流が入った。

《気象台観測所雨量》

単位(mm)

地域気象観測所における降水量

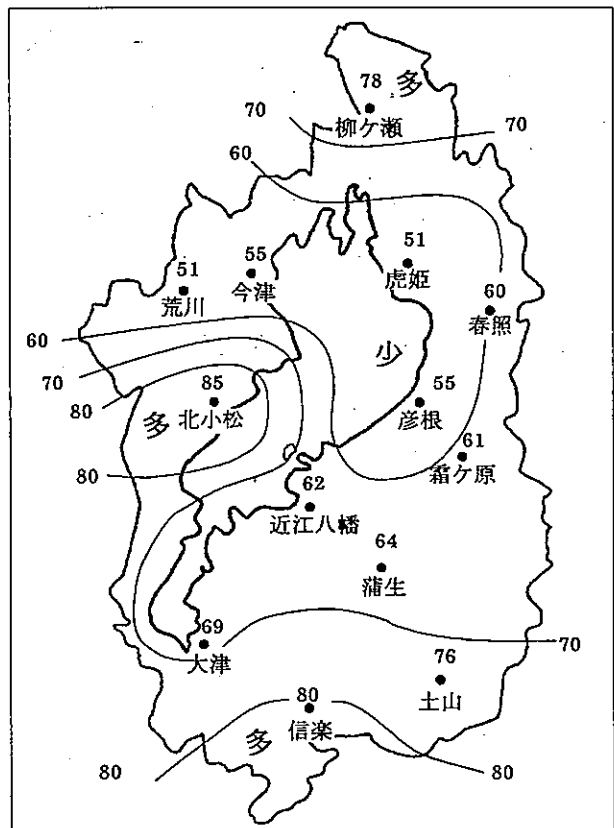
(9月24日~25日)

観測所	日	24日	25日	計
柳ヶ瀬		53	25	78
今津		29	26	55
虎姫		25	26	51
荒川		27	24	51
春照		30	30	60
北小松		57	28	85
彦根		26	29	55
近江八幡		28	34	62
霜ヶ原		29	32	61
蒲生		26	38	64
大津		31	38	69
信楽		32	48	80
土山		28	48	76

【降水量分布図】

単位(mm)

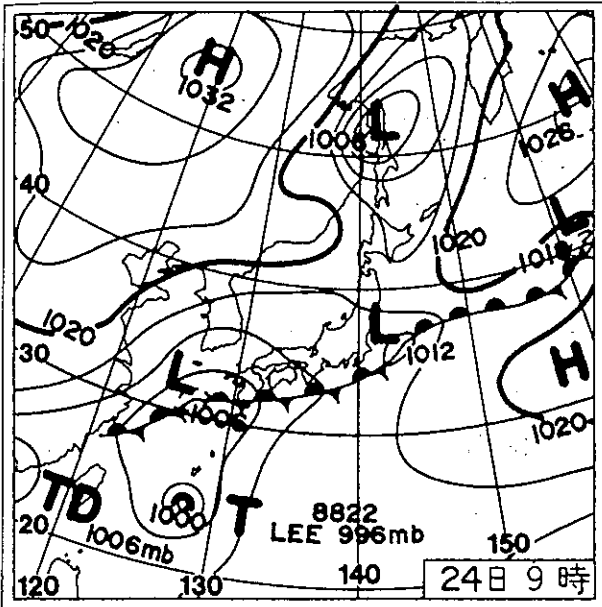
(9月24日~25日)



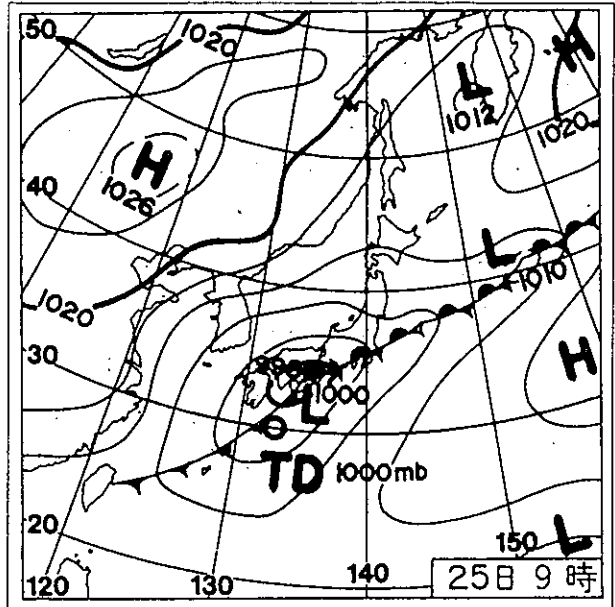
II 降雨の状況

24日から25日昼頃にかけて県下全般に50~90mmの雨が降った。

【9月24日9時の天気図】



【9月25日9時の天気図】



※ L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

III 被害状況

(ア) 住家被害

区分	棟	世帯	人	被災市町村 (棟・世帯・人)
床上浸水	2	2	5	草津市 (2・2・5)

(イ) 農林水産・土木関係被害

区分	ha	被災市町村 (ha)
田冠水	0.5	草津市 (0.5)



風 害

◆風害（4月18日）

I 気象の概要

日本海と日本の南岸の低気圧を含む深い気圧の谷の通過で、南東の強風が吹いた。
彦根で最大風速南東9.9m/s、最大瞬間風速南東19.9m/sを観測した。

II 被害状況

(ア) 農業関係被害

被害施設	件数
ビニールハウス	26
ガラス温室	1

(イ) 被害金額

区 分	金額（千円）
農産被害	3,193
〈被害総額〉	3,193

4

雪 害

◆雪害(2月7日~8日)

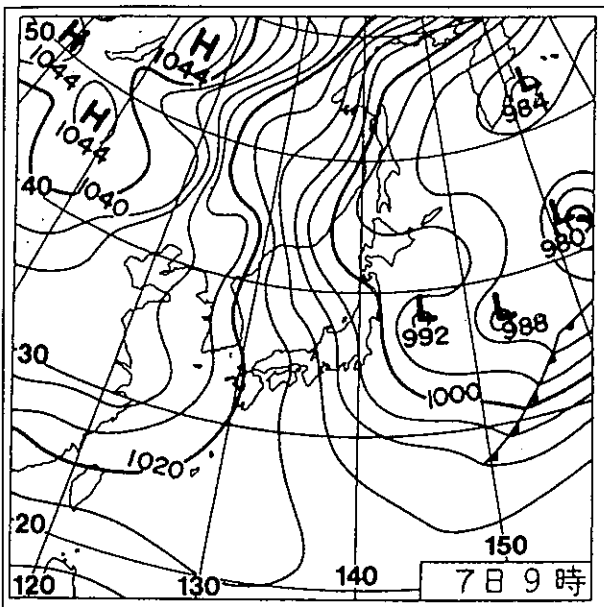
I 気象の概要

2月7日から8日にかけて強い冬型気圧配置が続き、上空に寒気が次々と流れ込んだため、滋賀県北部を中心に大雪が降った。

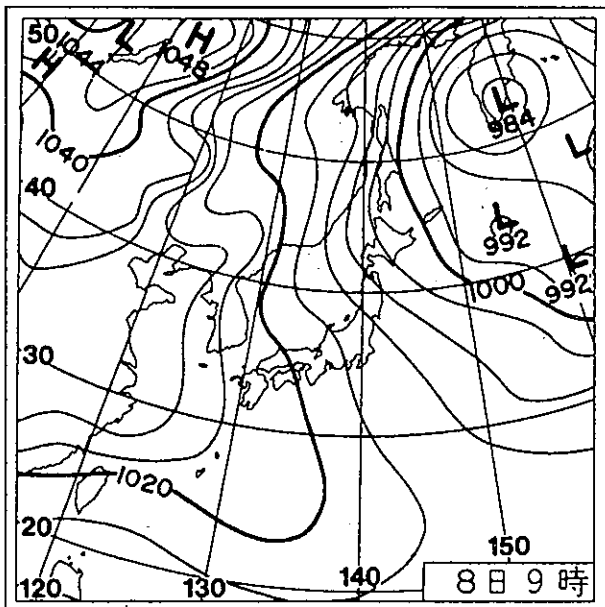
8日9時の積雪は柳ヶ瀬59cm、春照72cm、虎姫65cm、彦根20cmとなった。

この雪で東海道新幹線は3日から5日連続の遅れとなり、在来線も遅れを生じた。道路関係も名神高速、北陸自動車道、主要国道などでチェーン規制が続いた。又、スリップや脱輪などによる車の事故が目立ち、今津では路線バスが道路わきの田へ転落する事故もあった。

【2月7日9時の天気図】



【2月8日9時の天気図】



※ L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

《気象台観測所積雪量》

単位 (cm)

地域気象観測所における09時の積雪の深さ

(2月7日~8日)

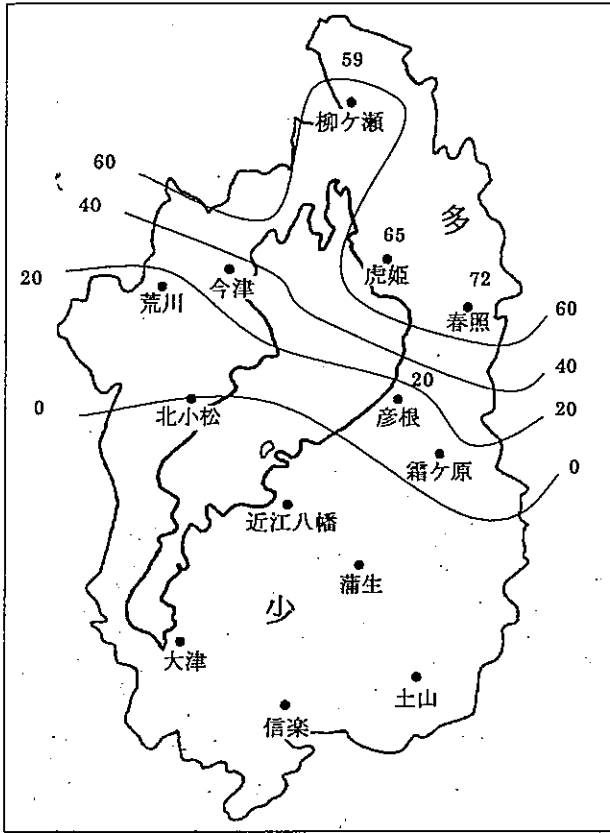
観測所	日	7日	8日	計
柳ヶ瀬		28	59	87
今津		XX	XX	XX
虎姫		25	65	90
荒川		-	-	-
春照		27	72	99
北小松		0	-	0
彦根		8	20	28
近江八幡		0	-	0
霜ヶ原		-	-	-
蒲生		-	-	-
大津		0	-	0
信楽		-	-	-
土山		-	-	-

XX=欠測 - =なし 0=1cm未満

【積雪分布図】

単位 (mm)

(2月7日～8日)



II 被害状況

(ア) 農業関係被害

被害施設	件数
イチゴハウス	1

(イ) 被害金額

区分	金額 (千円)
農産被害	1,500
《被害総額》	1,500



その他

◆雷害(8月17日)

I 気象の概要

熱帯低気圧の影響で大気の状態が不安定になり、県下の所々で雷が発生した。

II 被害の状況

区 分	戸
電 気	59,347

◆霜害(11月24日~30日)

I 気象の概要

24日から冬型気圧配置となり、上空では強い寒気の流入があり、気温の低い日が続いた。

II 被害の状況

(ア) 被害金額

区 分	金額(千円)
農産被害	15,000
〈被害総額〉	15,000

平成元年

(1989年)

気象概況

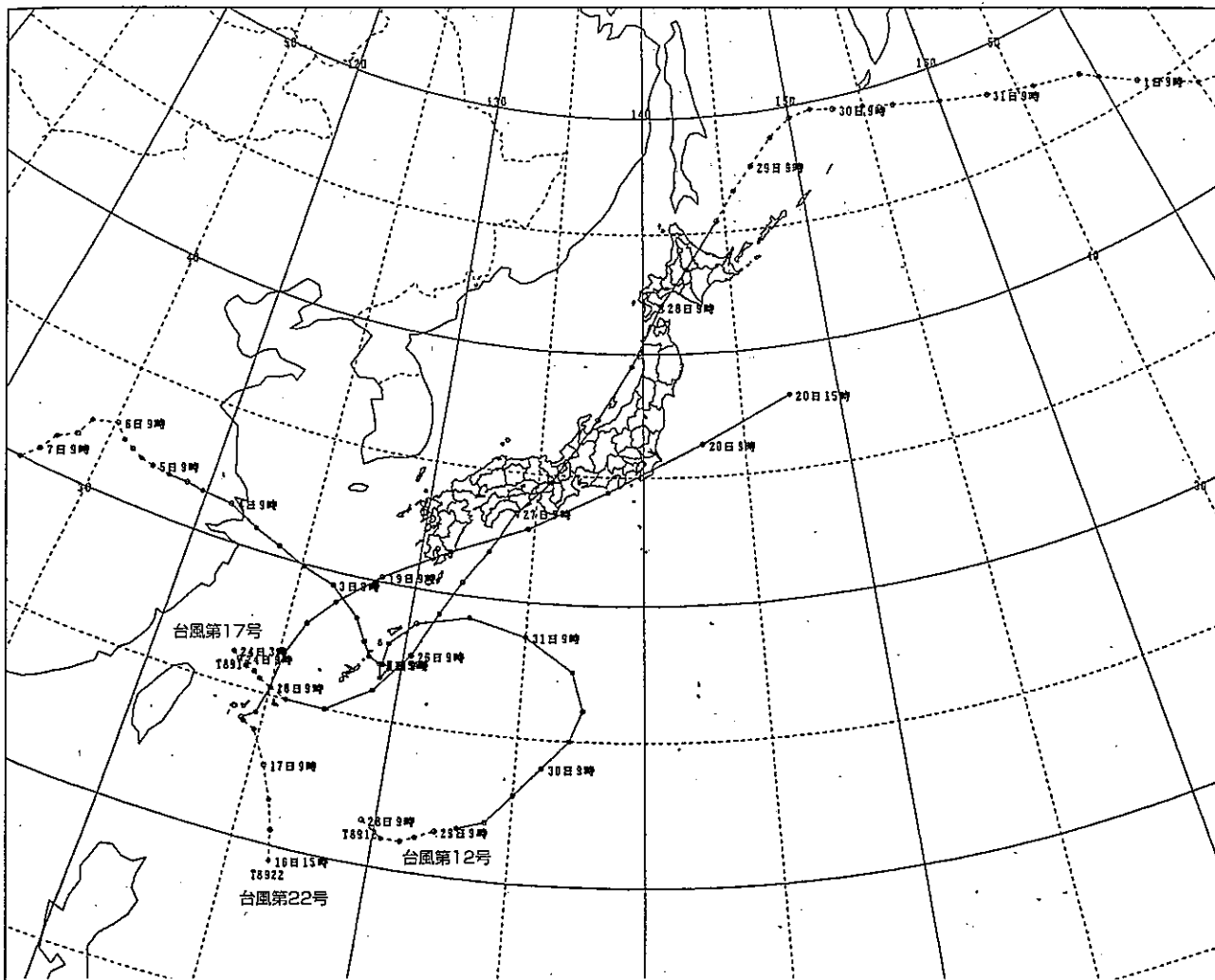
前年末から温暖な気候が続き、1月は暖冬となった。月末の27日夜から28日にかけて一時強い冬型の気圧配置となり雪が降った。彦根の1月の平均気温は5.8℃（平年3.2℃）でこれは月平均気温の高い値では観測開始以来第1位の記録となった。2月に入っても引続き温暖な気候であった。2月28日に春一番が観測され、平年（2月27日）より一日遅れとなった。3月に入っても高温続きで3月30日には桜（ソメイヨシノ）が平年（4月5日）より6日早く開花した。5月下旬には梅雨の走りが現われ、近畿地方は6月9日（平年6月8日）梅雨入りした。7月に入ると中旬頃から太平洋高気圧の張り出しが強くなって夏型の気圧配置が続いたが、近畿地方の梅雨明けは7月19日、平年（7月17日）より2日遅くなった。8月に入ると太平洋高気圧の張り出しは弱く、日本の南海上で次々と熱帯低気圧が発生し、26日から27日にかけて台風第17号となって室戸市付近に上陸し、北北東進しながら明石市付近に再上陸して、近畿地方及び滋賀県を暴風域に巻き込んで若狭湾に出た。彦根では13時01分に瞬間最大風速21.3m/sを観測し、雨量は多い所で土山190mm、霜ヶ原162mm、彦根57mmを記録した。9月中旬には本州南岸に停滞した前線上を低気圧が進んで大雨を降らせた。10月に入り移動性高気圧が带状となって広く覆ったので、晴天が続き全般に雨量は少なかった。彦根での月の雨量は46.5mmで平年値（116.7mm）の40%であった。11月は全般に高温で経過したが、中旬末には優勢な大陸の高気圧が張り出し強い寒気の流入で、11月20日に比良山（平年11月26日）、伊吹山（平年11月22日）で、平年より早い初冠雪を記録した。30日は強い冬型の気圧配置となり彦根で平年（12月7日）より早く初雪を観測した。12月に入ると中旬頃には強い冬型の気圧配置となり、北西の季節風が吹きしぐれた。年末にかけて冬型の気圧配置が更に強くなって、北西の季節風が吹き彦根で31日に平年（12月22日）より遅い初積雪を観測した。

1 台 風

(1) 台風の概況

高緯度に発生した台風が多く、台風発生数は32個で、平年（1951～1980年）の発生数26.9個を上回った。6月までの発生数は6個で平年（4.9個）より約1個多く、7月～9月には18個と平年（14.4個）より約4個多く発生している。また、日本への上陸数は6月～9月にかけて5個と平年の3.0個に比べて非常に多かった。

【日本に影響のあった台風の経路】



《彦根地方気象台における極値》

台 風 番 号	最 低 気 圧	最 大 風 速	最 大 瞬 間 風 速
台風第17号	982.5hPa	S E 10.1m/s	S E 21.3m/s
台風第22号	1001.1hPa	N W 9.8m/s	N W 15.7m/s

台風の原因が彦根から300km以上の場合、極値は観測していない。

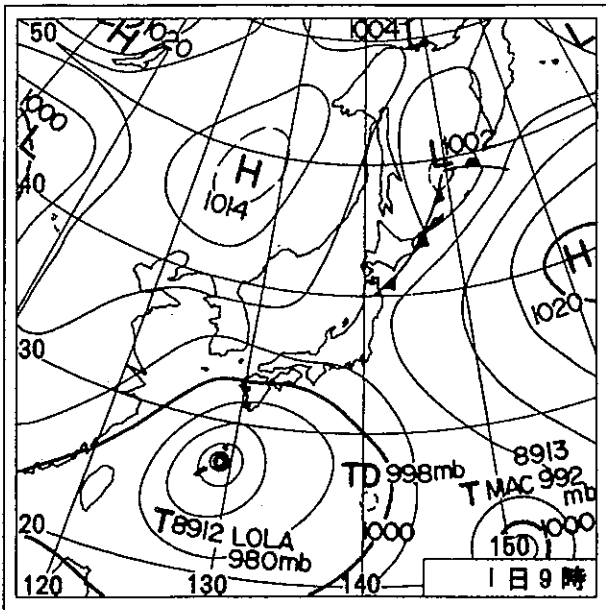
(2) 災害の状況

◆台風第12号を伴う大雨（8月1日～2日）

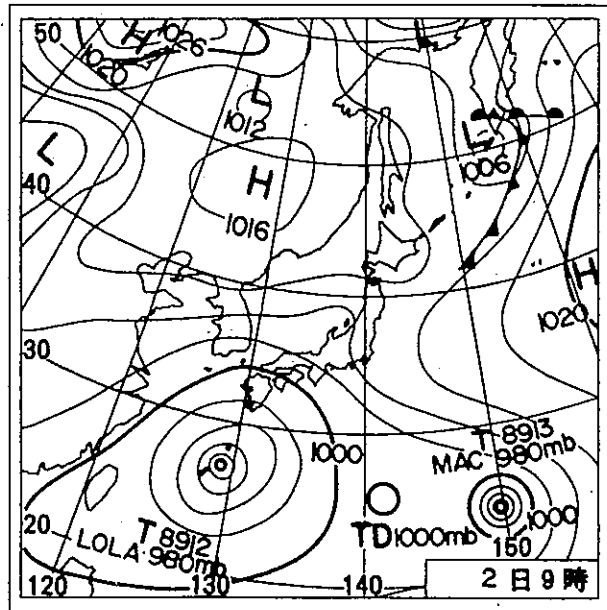
I 気象の概要

7月28日09時、沖縄の南海上に発生した弱い熱帯低気圧は、29日15時に台風第12号となった。台風は日本の南海上で半円を描くように動き、8月1日09時に沖永良部島の南東海上に達した。同海域で約1日間ほど停滞した後、東シナ海を西北西に進み、4日には中国大陸に上陸した。

【8月1日9時の天気図】



【8月2日9時の天気図】



※ L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

1日夜半から降り始めた雨は、次第に雨足が激しくなり、2日夕方までに最大24時間雨量80mmを越える降雨量となった。中でも、湖東地方の永源寺町及び日野町では、最大24時間雨量100mmを越え、永源寺町では117.0mm、日野町では108.5mmを記録した。

これらの集中豪雨により、県下の河川は増水し、被害が発生しました。また、国道や県道、町道において、崩土、冠水等により甚だしい被害を蒙った。

《気象台観測所雨量》

単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

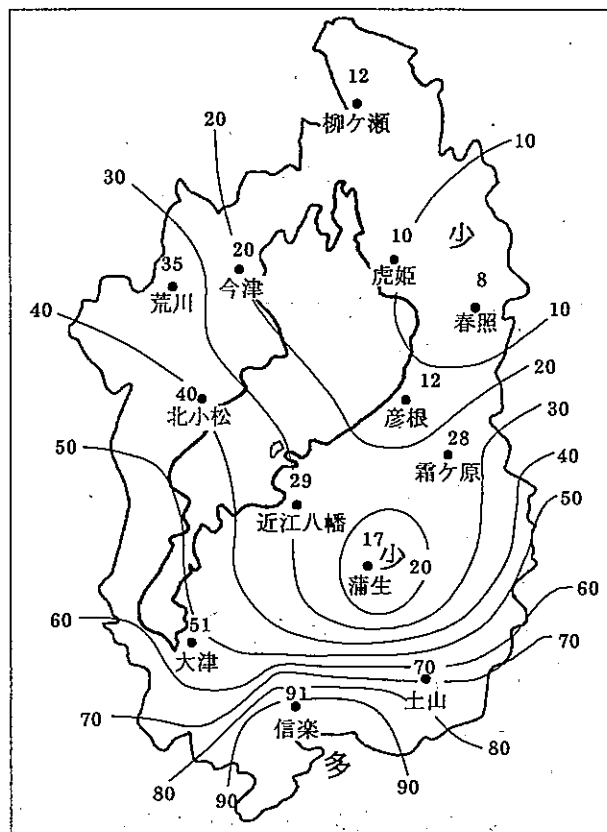
(8月1日～2日)

観測所	日	1～2日
柳ヶ瀬	瀬	12
今津	津	20
虎姫	姫	10
荒川	川	35
春照	照	8
北小松	松	40
彦根	根	12
近江八幡	幡	29
霜ヶ原	原	28
蒲生	生	17
大津	津	51
信楽	楽	91
土山	山	70

【降水量分布図】

単位 (mm)

(8月1日～2日)



Ⅲ 出水の状況

台風第12号の影響により、8月1日夜半から降り始めた雨は、次第に雨足が激しくなり、2日の夕方までに県内各地において、最大24時間雨量80mmを越える降雨量となり、中でも、湖東地方の永源寺町及び日野町などでは、最大24時間雨量100mmを越え、永源寺町では117.0mm、日野町では108.5mmを記録した。

これらの集中豪雨により県下の河川は増水し、被害が発生した。また、国道や県道、町道において、崩土、冠水等により甚だしい被害を蒙った。

Ⅳ 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区分	箇所	被災市町村 (ha、箇所)
その他	道路	5 永源寺町(3) 日野町(2)
	河川	4 永源寺町(2) 日野町(2)
	崖くずれ	1 永源寺町(1)

(イ) 被害金額

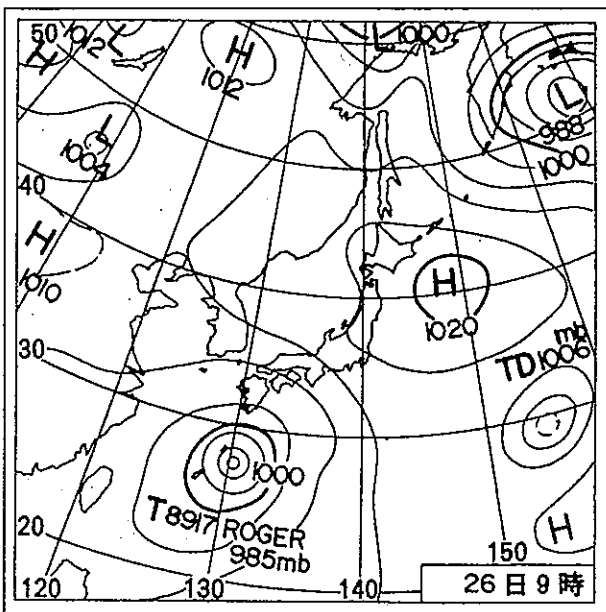
区分	金額 (千円)
公共土木施設	159,000
〈小計〉	159,000
〈被害総額〉	159,000

◆台風第17号(8月26日~28日)

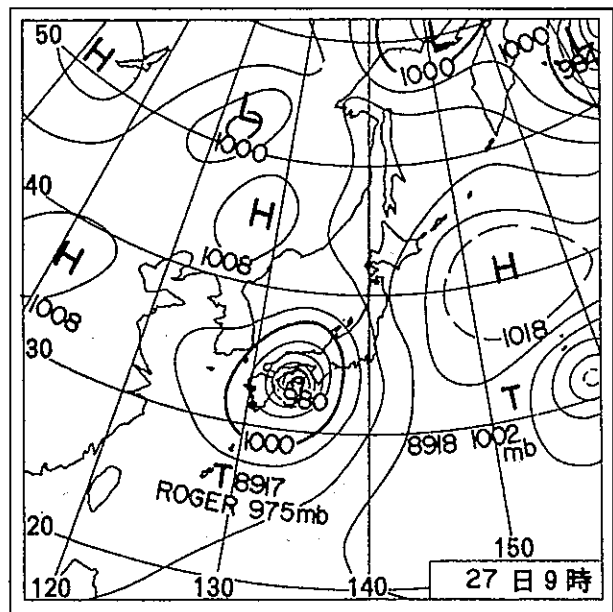
I 気象の概要

8月24日03時、沖縄の西海上で発生した弱い熱帯低気圧は東南東に進み、25日15時石垣島近海で台風第17号となった。台風は次第に東から北北東に向きを変え、27日09時頃、高知県室戸市付近に上陸し四国、近畿(15時過ぎには滋賀県上空)、北陸、東北、北海道を通過した後、オホーツク海に抜けた。28日21時には、オホーツク海で温帯低気圧に変わり次第に日本から遠ざかった。彦根における最低気圧は982.5hPa(27日16時16分)、最大風速は南東の風10.1m/s(27日12時50分)、最大瞬間風速は南東の風21.3m/s(27日13時01分)であった。

【8月26日9時の天気図】



【8月27日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

8月26日夜半から降り始めた雨は、27日明け方より激しくなり、比良、鈴鹿山系において、時間雨量が20mmを越える強い雨を記録した。中でも、湖西、甲賀地方を中心に激しい雨に見舞われ、最大24時間雨量は、大津市（葛川）で195.0mm、土山町（大河原）で304.0mm、永源寺町（政所）で295.5mmと豪雨を記録した。又最大時間雨量も大津市（葛川）で30.5mm、土山町（大河原）で56.0mm、永源寺町（政所）で47.0mmの強い雨を記録した。

この強い雨は、台風に伴い北上し、28日の朝まで県北部で降り続き、最大24時間雨量は、山東町（柏原）で115.0mm、木之本町（杉野）で109.0mmの降雨を記録した。

この豪雨により、県下の河川は増水し、各所で溢水、氾濫し、河岸の欠損、家屋の床下浸水、主要な道路での崩土、路肩欠等による通行止めなど、甚だしい被害が発生した。

《気象台観測所雨量》

単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

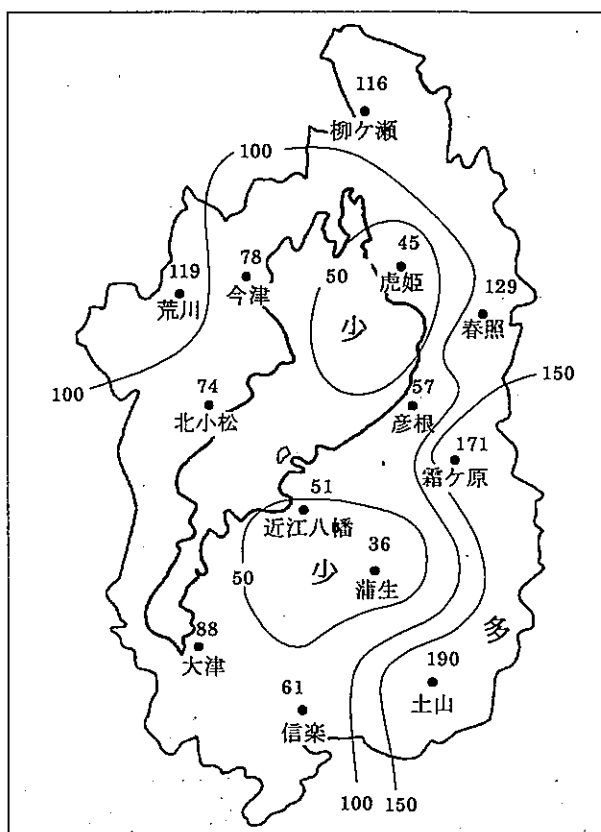
(8月26日～28日)

観測所	日	26～28日
柳ヶ瀬		116
今津		78
虎姫		45
荒川		119
春照		129
北小松		74
彦根		57
近江八幡		51
霜ヶ原		171
蒲生		36
大津		88
信楽		61
土山		190

【降水量分布図】

単位 (mm)

(8月26日～28日)



III 出水の状況

8月26日夜半から降り始めた雨は、27日明け方より激しくなり、特に湖西、甲賀地域を中心に時間雨量が20mmを越える強い雨が3～4時間も連続して降り続き、最大24時間雨量は、土山町（大河原）で304.0mm、永源寺町（政所）で295.5mmと豪雨を記録した。

この強い雨は、台風に伴い北上し、28日の朝まで県北部で降り続き、最大24時間雨量は、山東町（柏原）で115.0mm、木之本町（杉野）で109.0mmの降雨を記録した。

この豪雨により、県下の河川は増水し、1級河川田村川、日野川、愛知川、天野川、余呉川、安曇川で、通報水位、警戒水位を突破するとともに、小河川では、各所で溢水、氾濫し、河岸の欠損、家屋の床下浸水、田畑の冠水等の被害が発生しました。又主要な道路での崩土、路肩欠損等による通行止めなど、甚だしい被害が発生した。

《主要河川水位表》

河川名	観測所	県土木事務所名	警戒水位(m)	最高水位(m)	日 時
田村川	前川橋上流右岸	水口土木	1.80	2.40	27日11~12時
日野川	別所橋	八日市土木	2.00	2.18	27日12時
佐久良川	市子橋	八日市土木	1.20	1.28	27日11時
愛知川	紅葉橋	八日市土木	2.20	3.50	27日11時
天野川	天の川橋詰左岸	長浜土木	1.50	2.20	27日19時
余呉川	堂木分流点	木之本土木	1.50	1.63	27日18時・28日05時
安曇川	常安橋	今津土木	1.50	1.53	27日22時

IV 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発表時刻	発表・切替・解除
強風注意報	26日14時05分	発表
大雨洪水・強風雷注意報	26日20時20分	切替
暴風、大雨、洪水警報	27日08時30分	〃
強風洪水注意報	27日17時40分	〃
強風注意報	27日21時10分	〃
〃	28日06時05分	解除

(イ) 気象情報

種 類	発表時刻	種 類	発表時刻
台風に関する情報第1号	26日16時30分	台風に関する情報第7号	27日12時55分
台風に関する情報第2号	26日22時20分	台風に関する情報第8号	27日13時50分
台風に関する情報第3号	27日04時20分	台風に関する情報第9号	27日14時50分
台風に関する情報第4号	27日10時00分	台風に関する情報第10号	27日15時55分
台風に関する情報第5号	27日10時55分	台風に関する情報第11号	27日16時50分
台風に関する情報第6号	27日11時50分	台風に関する情報第12号	27日17時55分

(ウ) 県の対策状況

種 類	配備時刻	配備・切替・解除
第1号警戒体制	26日20時20分	配備
第2号警戒体制	27日08時30分	切替
〃	28日06時05分	解除

V 被害の状況

(ア) 住家被害

区分	棟	世帯	人	被災市町村(棟・世帯・人)
住家被害	全壊	1	5	土山町(1・1・5)
	一部損壊	1	4	八日市市(1・1・4)
	床下浸水	1	3	土山町(1・1・3)
非住家	文教施設	1	1	永源寺町(1)
	その他	13	13	甲南町(1) 長浜市(12)

(イ) 農林水産・土木関係被害

区分	ha	箇所	被災市町村 (ha、箇所)
田	0.285		
その他	学校	1	永源寺町(1)
	道路	74	大津市(8) 土山町(11) 甲賀町(3) 日野町(4) 永源寺町(20) 多賀町(7) 伊吹町(1) 近江町(1) 浅井町(2) 木之本町(9) 余呉町(6) 朽木村(1) 高島町(1)
	橋りょう	2	日野町(1) 多賀町(1)
	河川	53	大津市(6) 土山町(10) 八日市市(1) 蒲生町(2) 日野町(6) 永源寺町(3) 彦根市(1) 湖東町(1) 秦荘町(1) 多賀町(5) 山東町(4) 木之本町(2) 余呉町(4) 西浅井町(1) 今津町(2) 安曇川町(2) 高島町(2)
	崖くずれ	64	大津市(21) 志賀町(3) 土山町(14) 永源寺町(16) 彦根市(1) 愛東町(1) 多賀町(6) 木之本町(2)
	鉄道不通		1

(ウ) り災者数・り災世帯数

名称	り災規模	被災市町村
り災世帯数	世帯 1	土山町
り災人数	人 5	

(エ) 被害金額

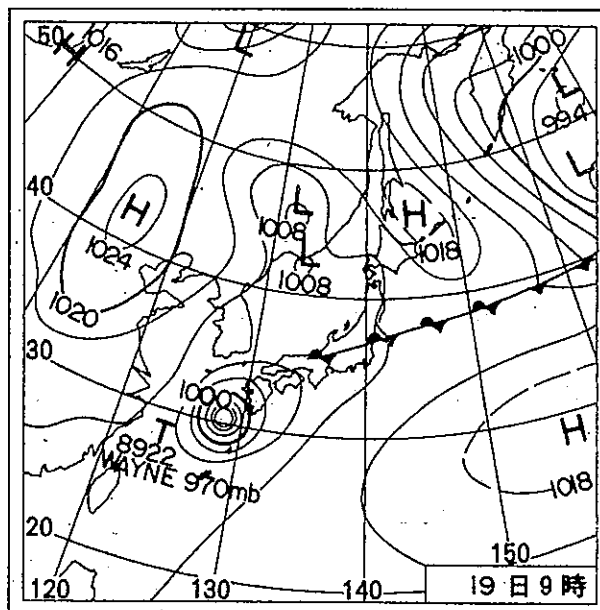
区分	金額(千円)
公立文教施設	10,710
農林水産業施設	320,740
公共土木施設	1,183,500
〈小計〉	1,514,950
農産被害	331,266
林産被害	7,028
その他	8,800
〈被害総額〉	1,862,044

◆台風第22号(9月19日)

I 気象の概要

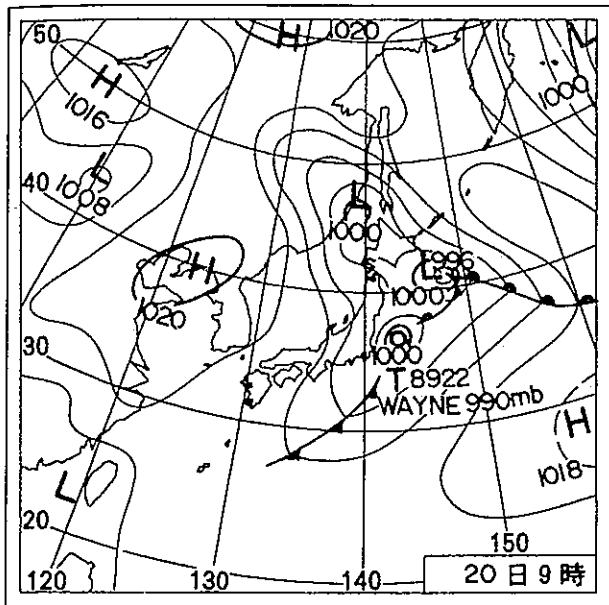
9月16日15時、フィリピン東海上に発生した弱い熱帯低気圧は北上して、17日18時に石垣島近海で台風第22号となった。台風は東シナ海を北東に進み、19日13時30分頃に大隈半島南部に上陸した後、やや加速しながら東北東に進み、20日03時30分頃に伊豆半島南部、05時頃に房総半島南部に再上陸した。台風は20日15時に日本の東海上で温帯低気圧に変わり、21時に消滅した。彦根における最低気圧は1001.0hPa(19日23時52分)、最大風速は北西の風9.8m/s(20日11時50分)、最大瞬間風速は北西の風15.7m/s(20日04時34分)であった。

【9月19日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

【9月20日9時の天気図】



※ L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

19日は山陰沿岸の秋雨前線が南下、また台風第22号が大隅半島に上陸し四国の南海上を東北東進した。このため県下全域にかけ昼頃より暴風域に入って大雨となった。

19日の降水量は40~100mmで北小松や大津で多かった。

《気象台観測所雨量》

単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

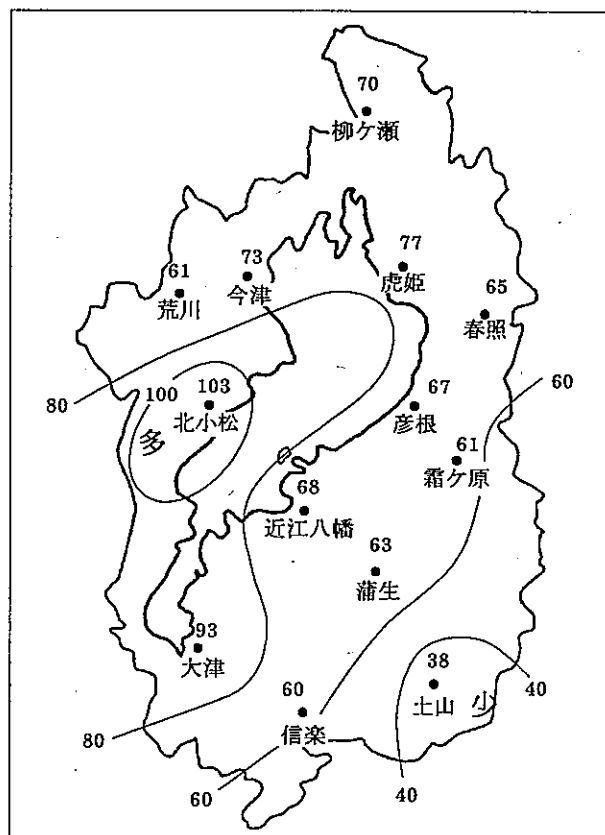
(9月19日)

観測所	日	19日
柳ヶ瀬		70
今津		73
虎姫		77
荒川		61
春照		65
北小松		103
彦根		67
近江八幡		68
霜ヶ原		61
蒲生		63
大津		93
信楽		60
土山		38

【降水量分布図】

単位 (mm)

(9月19日)



III 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区分	ha	箇所	被災市町村 (ha、箇所)
田冠水	19		新旭町(6) 安曇川町(13)
その他 河川		1	今津町(1)
その他 ブロック塀		1	高島町(1)

(イ) 被害金額

区 分	金額 (千円)
公共土木施設	1,000
〈小 計〉	1,000
その他	100
〈被害総額〉	1,100

(ウ) その他の状況

原 因	箇 所	規制種別
異常降雨	多賀町306号	通行止
異常降雨	多賀醒ヶ井	通行止
異常降雨	多賀永源寺	通行止
異常降雨	百済寺	通行止

2 豪 雨

(1) 豪雨の状況

9月2日から3日にかけて西日本付近に停滞する活動の活発な秋雨前線の影響で大雨となった。5日は九州の南海上の熱帯低気圧が北東進し、これに伴い南岸の秋雨前線も再び北上して県下全域で雨が降った。その後秋雨前線は再び南下し始め、前線活動も活発となったため、南部を中心に雷を伴う激しい雨が降った。

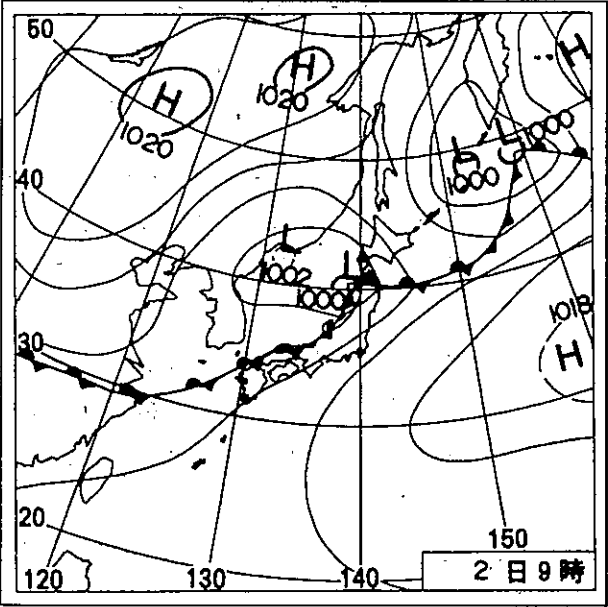
(2) 災害の状況

◆豪雨(9月2日~7日)

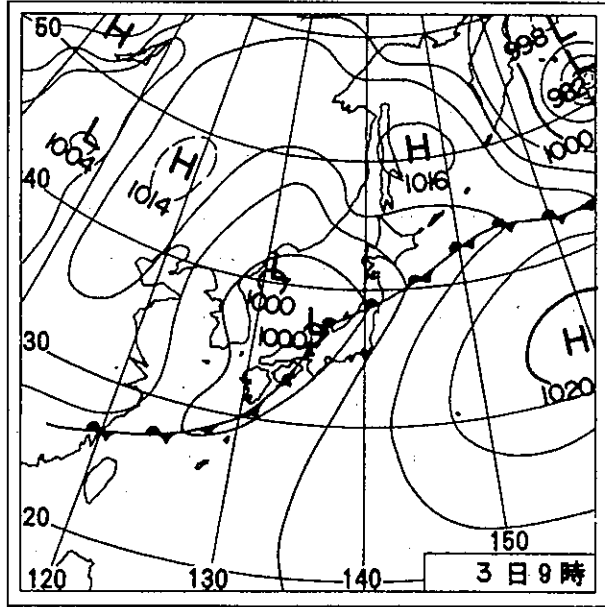
I 気象の概要

南岸には秋雨前線が停滞していたが、四国の南海上にある熱帯低気圧が北東進した。これに伴い秋雨前線も北上して県下全域でわか雨が降った。その後秋雨前線は再び南下し始めたので、前線活動も活発になったため、南部を中心に雷を伴い豪雨となり、6日の21時には大津で時間雨量59mmを観測した。前線通過後は雨も次第に小降りとなった。

【9月2日9時の天気図】



【9月3日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

9月2日昼頃から降り始めた雨は、3日未明頃から早朝にかけて時間雨量10~30mmの強い雨となった。特に、湖西、湖北、湖東地方において、時間雨量20mm以上の激しい降雨となり、最大時間雨量は、虎姫町(五村)で41.0mm、余呉町(下余呉)で25.0mm、安曇川町(田中)で24.0mmの強い雨を記録した。

その後も、雨は断続的に降り続き、2日の降り始めからの最大24時間雨量は、県下のほぼ全域で80mmを越える豪雨となり、特に、大津市(打出浜)で125.5mm、志賀町(木戸)で161.5mm、草津市(草津)で129.0mm、長浜市(平方)で113.0mm、木之本町(木之本)で145.0mm、今津町(今津)で124.5mmを始め湖西、湖北地方では、110mm以上の豪雨を記録した。

また、6日夜半から降り始めた雨は、深夜には県下のほぼ全域において、時間雨量20mm以上の激しい降雨となった。

《気象台観測所雨量》

単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

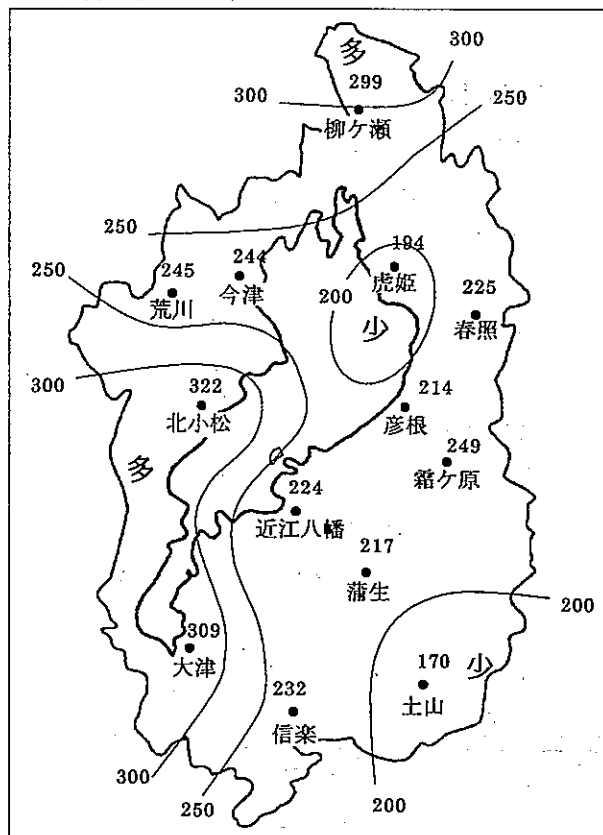
(9月5日～7日)

観測所	日	5日	6日	7日	計
柳ヶ瀬		15	45	56	116
今津		13	63	32	108
虎姫		22	28	33	83
荒川		18	42	50	110
春照		32	62	27	121
北小松		13	81	31	125
彦根		26	56	17	99
近江八幡		23	58	12	93
霜ヶ原		43	100	22	165
蒲生		23	93	17	133
大津		23	126	9	158
信楽		28	100	13	141
土山		44	57	2	103

【降水量分布図】

単位 (mm)

(9月2日～7日)



Ⅲ 出水の状況

9月2日から3日にかけて秋雨前線の活動が活発になり、2日昼頃から降り始めた雨は、3日早朝から時間雨量10～30mmの強い雨となり、2日降り始めからの連続雨量も県下のほぼ全域で80mmを越える豪雨となり、このために県下の河川は、一級河川草津川、姉川、田川、高時川、安曇川などで、通報水位、警戒水位を突破するとともに、小河川の氾濫が相次いだ。

また、9月6日から7日にかけて、再び、秋雨前線の活動が活発となり、6日夜半から時間雨量20mm以上の強い雨が7日早朝にかけて降り、6日の降り始めからの連続雨量も特に湖東、湖西及び信楽地方で100mmを越える豪雨となり、このために再び1級河川大戸川、日野川、安曇川などで、通報水位、警戒水位を突破するとともに小河川の氾濫が起きた。

これらの豪雨による河川の出水により、家屋の床下浸水や田畑の冠水等の一般被害及び河岸欠損、道路の法面崩壊、路肩欠損等、公共土木施設に被害を蒙った。

《主要河川水位表》

河川名	観測所	県土木事務所名	警戒水位 (m)	最高水位 (m)	日時
草津川	旭橋	草津土木	0.80	1.03	3日15時
姉川	難波橋橋詰右岸	長浜土木	2.70	5.46	3日18時
田川	中野馬橋左岸	長浜土木	2.00	2.05	3日15時
高時川	川合	木之本土木	2.70	3.00	3日16時
余呉川	西柳野菅草橋	木之本土木	2.80	2.93	3日14時
安曇川	常安橋	今津土木	1.50	1.80	3日17時
大戸川	旭橋上流右岸	水口土木	2.30	2.70	6日23時
日野川	桐原橋	八日市土木	3.00	4.59	7日03時
安曇川	常安橋	今津土木	1.50	1.69	7日07時

IV 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発 表 時 刻	発表・切替・解除
大雨・洪水・雷注意報	6日19時15分	発表
大雨洪水警報・雷注意報	6日20時40分	切替
洪水警報・大雨・雷注意報	7日04時40分	〃
洪水注意報	7日08時00分	〃
大雨・洪水・雷注意報	7日11時05分	〃
〃	7日15時55分	解除

(イ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	配備・切替・解除
第1号警戒体制	6日19時15分	配備
第2号警戒体制	6日20時40分	切替
第1号警戒体制	7日08時00分	〃
〃	7日15時55分	解除

V 被害の状況

(ア) 住家被害

区 分	棟	世帯	人	被災市町村(棟・世帯・人)	
住家被害	床上浸水	1	2	2	大津市(1・2・2)
	床下浸水	169	183	644	大津市(26・40・117) 草津市(67・67・191) 水口町(4・4・15) 信楽町(12・12・52) 近江八幡市(20・20・80) 甲良町(5・5・17) マキノ町(1・1・4) 守山市(2・2・7) 長浜市(28・28・150) 多賀町(1・1・4) 安曇川町(3・3・7)
	その他	1			長浜県事務所管内(1)
非住家					

(イ) 農林水産・土木関係被害

区 分	ha	箇所	被災市町村(ha、箇所)	
田	流失・埋没	0.335	水口町(0.02) 甲南町(0.035) 蒲生町(0.03) 多賀町(0.23) 長浜県事務所管内(0.02)	
	冠 水	323.5	近江八幡市(8) 多賀町(2.5) マキノ町(3.6) 今津町(5) 安曇川町(40.4) 新旭町(81) 長浜県事務所管内(183)	
畑	冠 水	29.8	近江八幡市(0.2) 安曇川町(10)	
そ の 他	道 路		71	大津市(12) 土山町(2) 甲南町(1) 信楽町(9) 蒲生町(1) 彦根市(2) 秦荘町(1) 多賀町(6) 山東町(3) 伊吹町(1) 今津町(1) 朽木村(2) 余呉町(5) 西浅井町(7) 高島町(3) 長浜市(1) 米原町(1) 木之本町(9) 栗東町(1) 能登川町(1) 浅井町(2)
	河 川		156	大津市(18) 志賀町(15) 石部町(2) 甲西町(4) 水口町(4) 甲南町(4) 信楽町(29) 近江八幡市(1) 蒲生町(6) 竜王町(1) 多賀町(4) 山東町(1) 伊吹町(2) 今津町(7) 朽木村(2) 安曇川町(1) 草津市(1) 守山市(2) 栗東町(3) 五個荘町(1) 浅井町(3) 余呉町(11) マキノ町(3) 秦荘町(1) 虎姫町(4) 西浅井町(11) 能登川町(1) びわ町(3) 高月町(4) 木之本町(3) 高島町(4)
	砂 防		11	信楽町(7) 余呉町(3) 多賀町(1)
他	崖くずれ		111	大津市(21) 草津市(2) 守山市(1) 水口町(1) 土山町(1) 甲南町(1) 信楽町(12) 蒲生町(1) 日野町(3) 彦根市(2) 秦荘町(7) 多賀町(11) 山東町(2) 木之本町(4) 余呉町(1) マキノ町(1) 志賀町(6) 栗東町(2) 甲西町(1) 五個荘町(1) 長浜市(1) 山東町(2) 高月町(3) 木之本町(6) 余呉町(8) 西浅井町(4) 今津町(1) 安曇川町(5)
	電 気		1	信楽町(1)

(ウ) 被害金額

区 分	金額 (千円)
農林水産業施設	397,300
公共土木施設	1,938,700
〈小 計〉	2,336,000
・〈被害総額〉	2,336,000

(エ) その他の状況

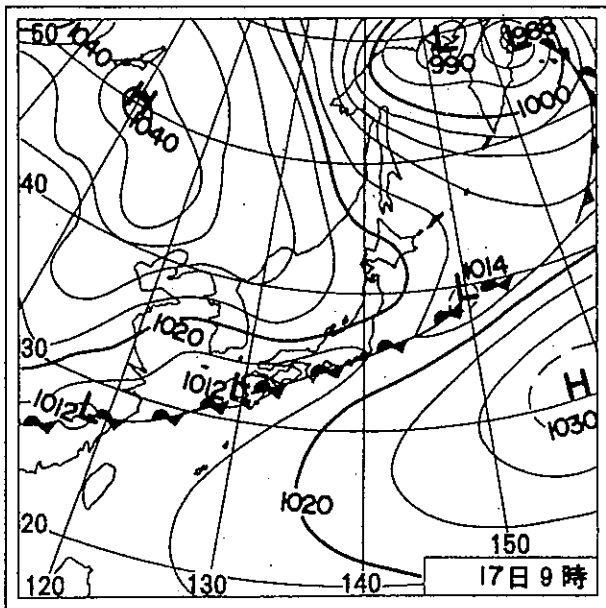
原 因	箇 所	規制状況
豪雨	県道西浅井マキノ線	通行止
豪雨	国道1号線大津市本宮横木	通行止
豪雨	国道161福井県敦賀市中山高島郡マキノ	通行止
豪雨	国道303木之本岐阜	通行止

◆大雨 (2月17日~18日)

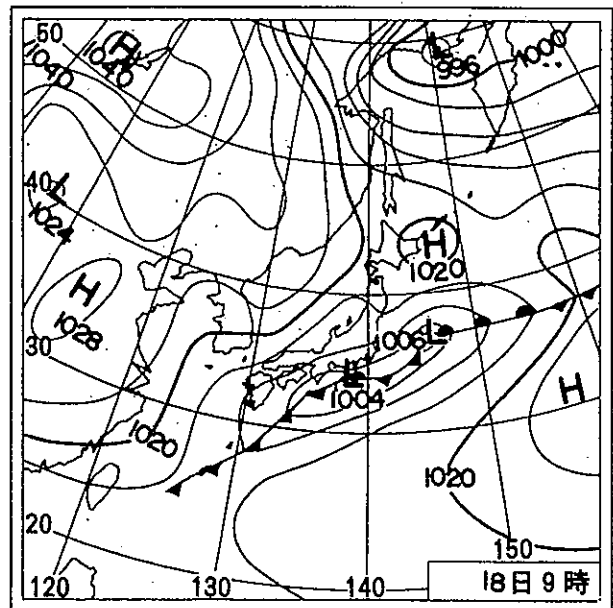
I 気象の概要

16日前線を伴った低気圧が日本海沿岸を東進し雨が降った。前線はこの後南下したが、南岸で停滞する前線上を次々と低気圧が通過した。

【2月17日9時の天気図】



【2月18日9時の天気図】



※ L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

17日から18日までの県内各地の雨量は40~60mmとなった。

《気象台観測所雨量》

単位(mm)

地域気象観測所における降水量

(2月17日~18日)

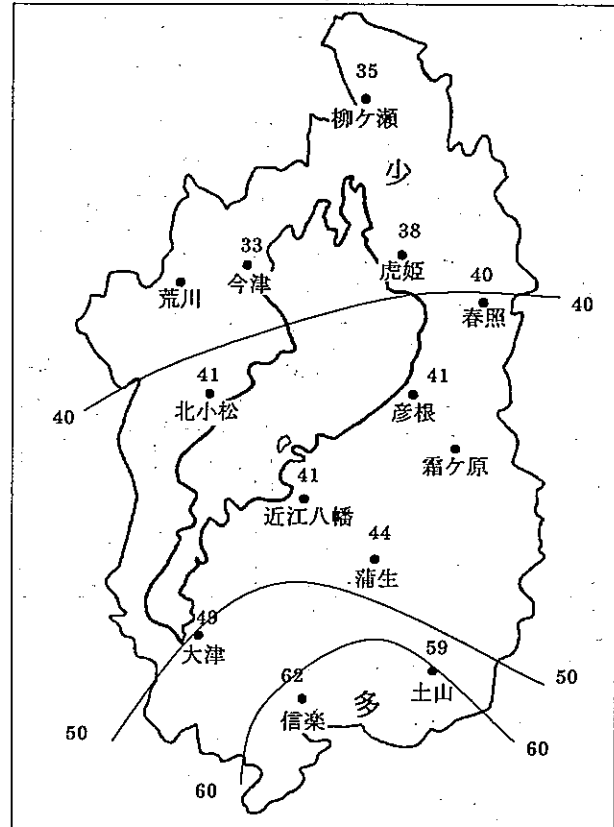
観測所	17日	18日	計
柳ヶ瀬	19	16	35
今津	17	16	33
虎姫	23	15	38
荒川	-	-	-
春照	26	14	40
北小松	19	22	41
彦根	23	18	41
近江八幡	23	18	41
霜ヶ原	-	-	-
蒲生	31	13	44
大津	32	17	49
信楽	42	20	62
土山	41	18	59

-=なし

・[降水量分布図]

単位(mm)

(2月17日~18日)



III 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区分	箇所	被災市町村(箇所)
崖くずれ	2	多賀町(2)

(イ) 被害金額

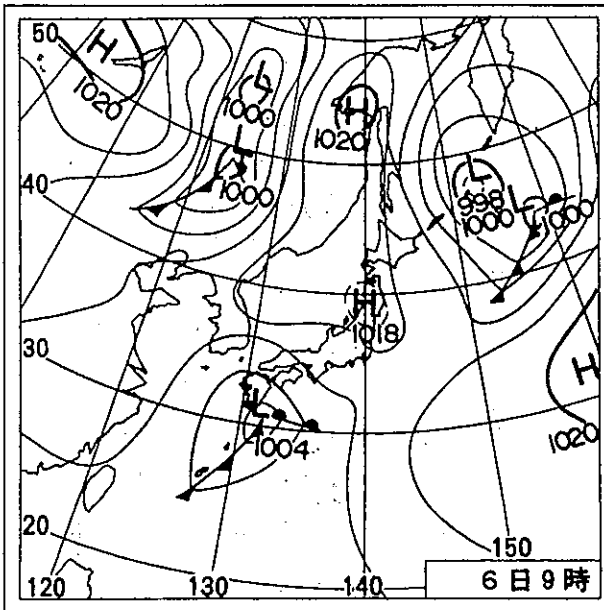
区分	金額(千円)
農林水産業施設	4,500
〈小計〉	4,500
その他	542
《被害総額》	5,042

◆大雨 (5月6日～7日)

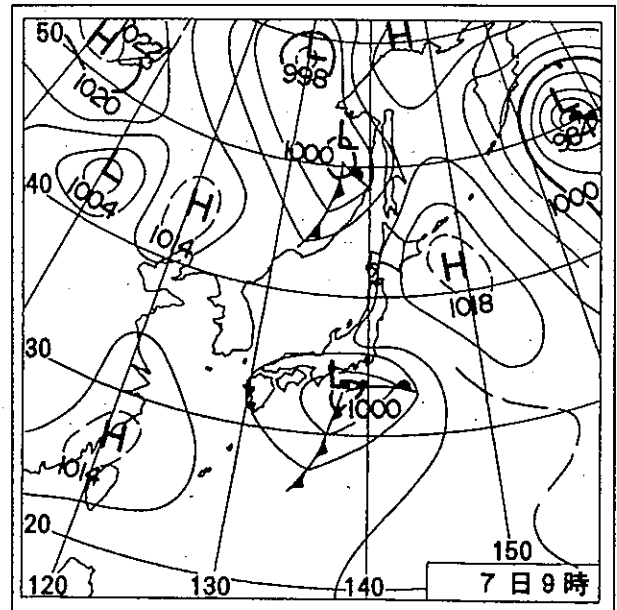
I 気象の概要

6日九州南海上にあった前線を伴う低気圧は、発達しながら7日にかけて南海上に北東進した。

【5月6日9時の天気図】



【5月7日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

南部を中心にまとまった雨が降った。

《気象台観測所雨量》

単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

(5月6日～7日)

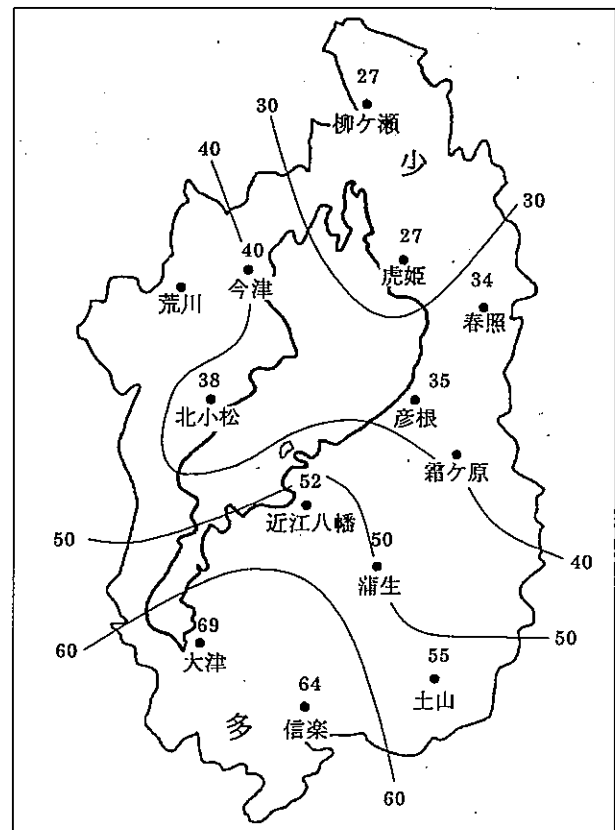
観測所	日	6日	7日	計
柳ヶ瀬		10	17	27
今津		13	27	40
虎姫		7	20	27
荒川		-	-	-
春照		10	24	34
北小松		13	25	38
彦根		10	25	35
近江八幡		18	34	52
霜ヶ原		-	-	-
蒲生		22	28	50
大津		28	41	69
信楽		38	26	64
土山		33	22	55

-=なし

【降水量分布図】

単位 (mm)

(5月6日～7日)



Ⅲ 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区分	箇所	被災市町村(箇所)
崖くずれ	2	水口町(2)

(イ) 被害金額

区分	金額(千円)
その他	5,557
《被害総額》	5,557

◆大雨(6月16日)

I 気象の概要

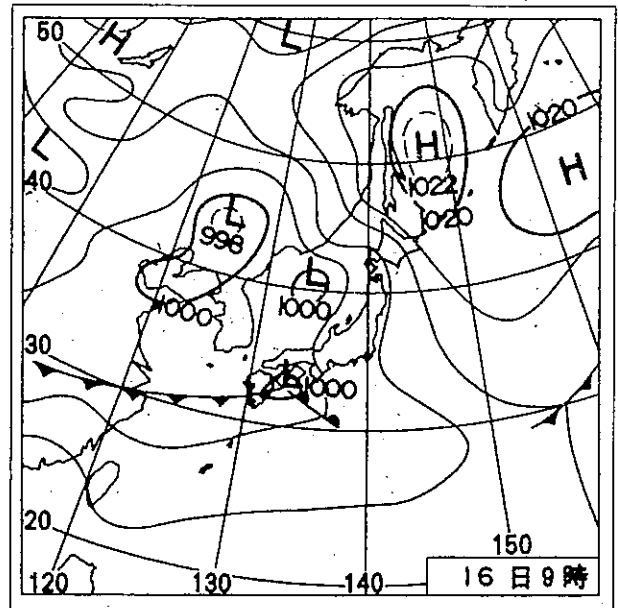
16日、本州南岸に停滞していた梅雨前線を低気圧が発達しながら東進した。

II 降雨の状況

16日は朝から降り出した雨が夜まで続いた。

志賀町北小松や大津市、彦根市で一時的に1時間10mm~20mmの強い雨が降り、湖北・湖西中心に大雨となった。

【6月16日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

《気象台観測所雨量》

単位(mm)

地域気象観測所における降水量

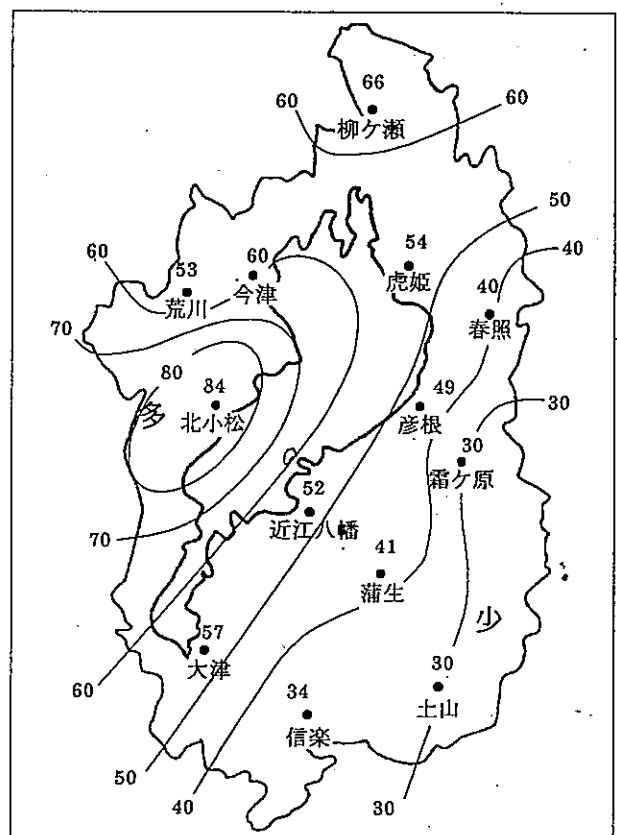
(6月16日)

観測所	日	16日
柳ヶ瀬	瀬	66
今津	津	60
虎姫	姫	54
荒川	川	53
春照	照	40
北小松	松	84
彦根	根	49
近江八幡	幡	52
霜ヶ原	原	30
蒲生	生	41
大津	津	57
信楽	楽	34
土山	山	30

【降水量分布図】

単位(mm)

(6月16日)



Ⅲ 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区分	箇所	被災市町村(箇所)
道路	4	高島町(2) 朽木町(2)

(イ) 被害金額

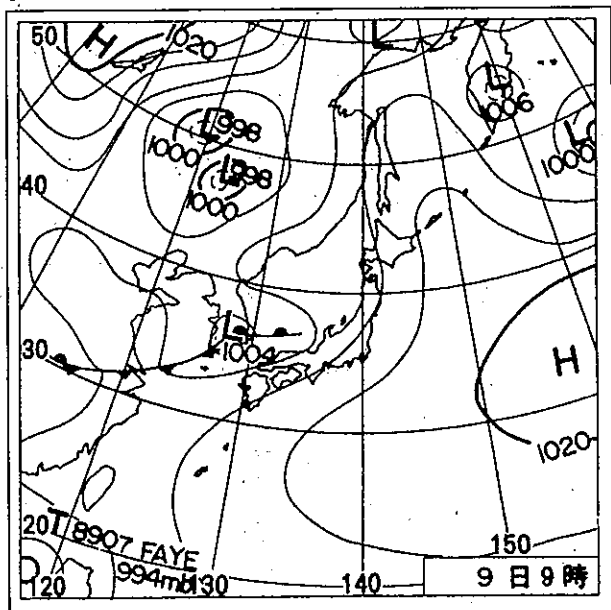
区分	金額(千円)
農林水産業施設	2,550
〈小計〉	2,550
《被害総額》	2,550

◆大雨(7月10日)

I 気象の概要

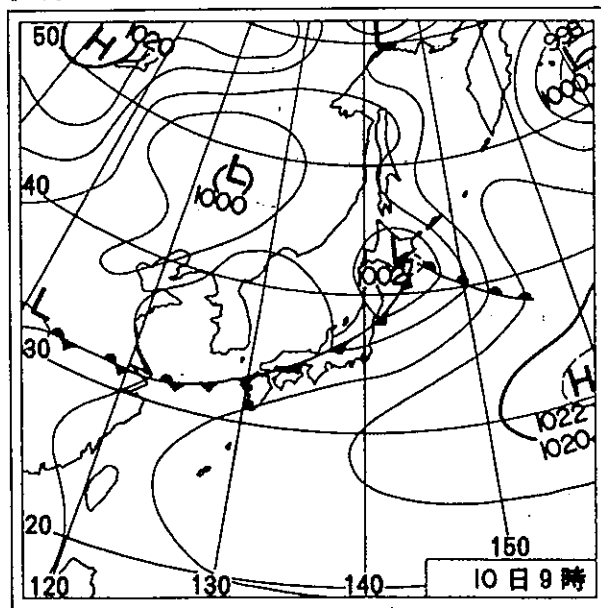
9日から10日にかけて低気圧が日本海を北東進し、これに伴って秋雨前線も南下した。

【7月9日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

【7月10日9時の天気図】



II 降雨の状況

湖北を中心にまとまった雨が降った。

《気象台観測所雨量》

単位(mm)

地域気象観測所における降水量

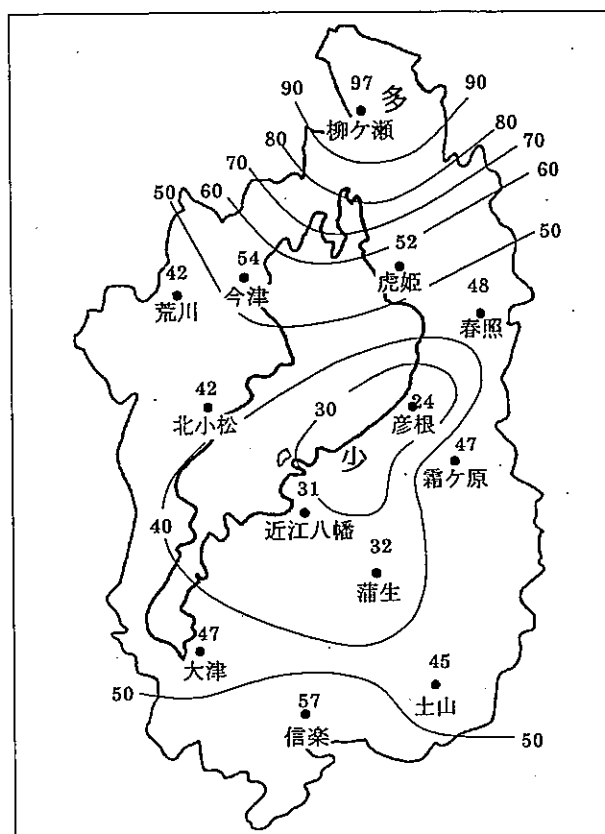
(2月9日~10日)

観測所	日	9日	10日	計
柳ヶ瀬		66	31	97
今津		37	17	54
虎姫		25	27	52
荒川		30	12	42
春照		22	26	48
北小松		31	11	42
彦根		12	12	24
近江八幡		11	20	31
霜ヶ原		21	26	47
蒲生		14	18	32
大津		16	31	47
信楽		24	33	57
土山		14	31	45

【降水量分布図】

単位(mm)

(7月9日~10日)



Ⅲ 被害の状況

(ア) 住家被害

区分	棟	世帯	人	被災市町村
床下浸水	7	12	17	大津市(7・12・17)

(ウ) 被害金額

区分	金額(千円)
農林水産業施設	15,400
〈小計〉	15,400
《被害総額》	15,400

(イ) 農林水産・土木関係被害

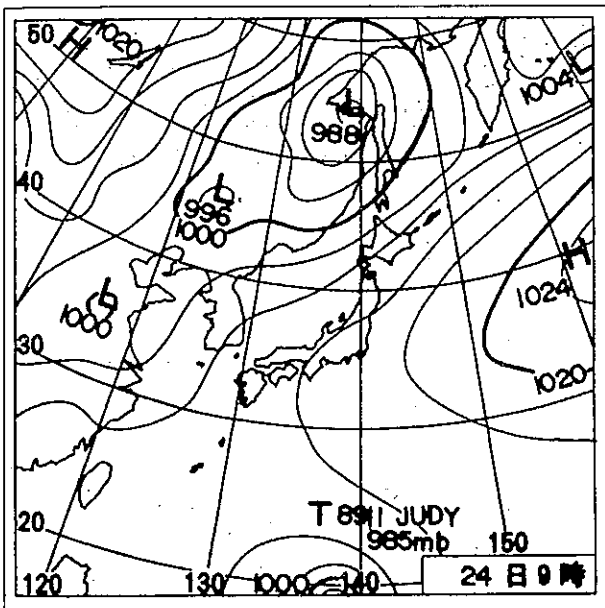
区分	箇所	被災市町村(箇所)
道路	4	大津市(1) 土山町(1) 甲賀町(1) 信楽町(1)

◆大雨(7月24~25日)

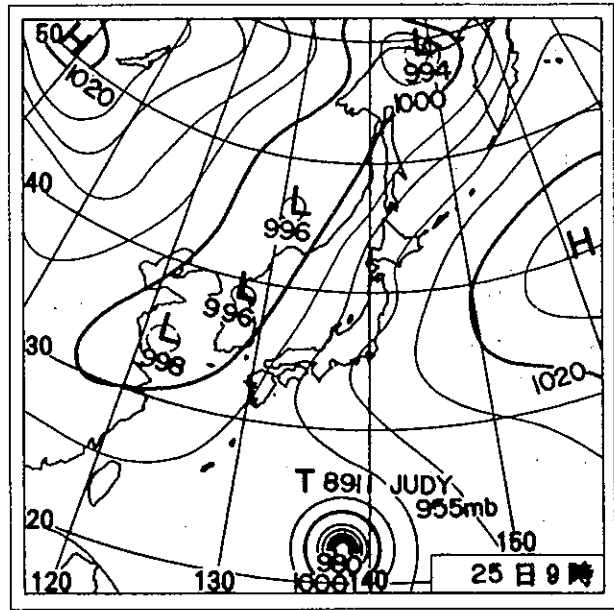
I 気象の概要

24日から25日にかけて本州南海上の台風第11号の影響で暖湿気流が入り、大気が不安定となって所々で雷を伴い強雨が降った。

【7月24日9時の天気図】



【7月25日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

雷を伴い強雨が降った。

Ⅲ 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区分	箇所	被災市町村(箇所)
道路	2	永源寺町(2)

(イ) 被害金額

区分	金額(千円)
農林水産業施設	14,000
〈小計〉	14,000
《被害総額》	14,000

(ウ) その他の状況

原因	箇所	規制状況
大雨	永源寺町茨川	通行止
大雨	永源寺町君ヶ畑	通行止

◆大雨（9月22日）

I 気象の概要

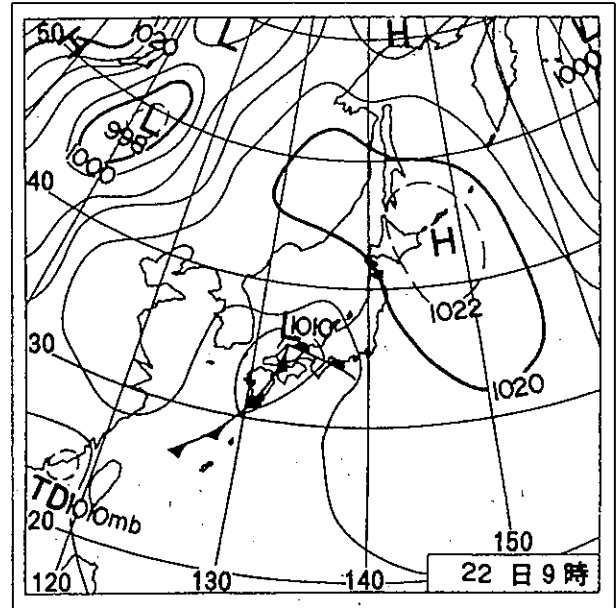
前線を伴った低気圧が山陰沿岸を北東進したため、県下全域で雷を伴う雨が降った。

II 降雨の状況

22日の14時から16時頃にかけて各地で雷を伴い強い雨が降った。

近江八幡市では15時までの1時間に25mm、彦根市では16時までの1時間に24mmを観測した。

【9月22日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

III 被害の状況

(ア) 住家被害

区分	棟	世帯	人	被災市町村(棟・世帯・人)	
住宅被害	一部破損	1	1	4	秦荘町(1・1・4)
	床上浸水	1	1	4	秦荘町(1・1・4)
	床下浸水	11	11	39	近江八幡市(8・8・24) 五個荘町(3・3・15)

(イ) 農林水産・土木関係被害

区分	箇所	被災市町村(箇所)
田	流失・埋没 0.23	秦荘町(0.23)

(ウ) 被害金額

区分	金額(千円)
その他	350
〈小計〉	350
〈被害総額〉	350

◆強雨（7月16日）

I 気象の概要

16日から17日にかけて、日本海の梅雨前線が南下し、大気が不安定となり雷を伴い強雨が降った。

II 降雨の状況

雷を伴い強雨が降った。

III 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区分	箇所	被災市町村(箇所)
崖くずれ	1	信楽町(1)

凍 霜 害

◆凍霜害（4月27日～29日）

I 気象の概況

27日の夜から28日夕方にかけて冬型気圧配置となり、北西の風が強まった。上層の気圧の谷が東に去った後、約 -30°C の寒気が沿海州から日本海に南下し、28日21時には輪島の上空約5,200mで -25.9°C 潮岬上空で -15.7°C の寒気が入り込んだ。

一方地上では大陸から移動性高気圧が東南東進し、28日夜には中心が日本海南部に進んできたため西日本の冬型気圧配置は急激に緩んだ。

このため28日夜から29日の明け方にかけて、よく晴れて風も弱く、放射冷却により山間部を中心に厳しい冷込みとなった。

II 被害の状況

(ア) 市町村別の被害状況

市町村名	作物名	面積 (ha)	被害減収量 (kg)		被害金額 (千円)
			荒茶	生葉	
水口町	茶	85	12,200	61,000	19,200
土山町	茶	260	222,900	1,005,000	496,700
甲賀町	茶	82	9,100	41,000	10,082
甲南町	茶	40	5,900	26,600	8,000
信楽町	茶	158	43,840	213,900	219,590
日野町	茶	37	18,000	90,000	49,500
永源寺町	茶	20	12,800	64,000	48,352
余呉町	茶	3.4	2,240	11,200	2,240
木之本町	茶	6	4,800	24,000	4,800
愛東町	茶	24	12,900	51,600	14,000
合計	茶	715.4	344,680	1,588,300	872,464

(イ) 被害金額

区 分	金額 (千円)
農産被害	872,464
〈被害総額〉	872,464

◆風浪（4月27日～29日）

I 気象の概況

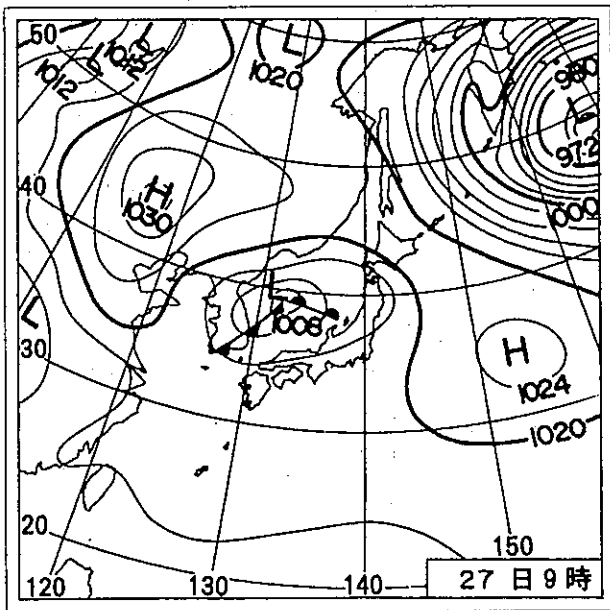
季節はずれの冬型気圧配置により県下では4月27日の昼頃から西南西あるいは南南西の風が強まり、彦根地方気象台では14時40分に強風注意報を発表した。その後風向きは北北西あるいは北西に変化するとともに風は更に強まり、夕方頃からは10m/sを越える強風が1時間余り続いた。

この風も一時収まったものの夜半には再び強まり22時00分には平均風速が12m/sを記録しその後も10m/s前後の西北西あるいは北西の風が吹き続き28日の02時半頃には20.6m/sという最大瞬間風速を、また明け方の04時00分には、平均風速12.4m/sを記録した。

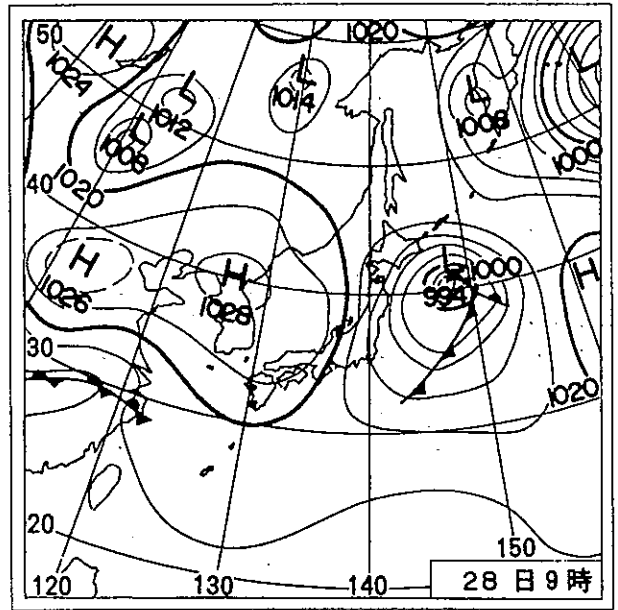
発表中の強風注意報は16時20分に琵琶湖のみに更新されたが依然として風は強く、29日06時00分注意報が解除されるまで約40時間にも及ぶ長時間、強風注意報が続いた。

特に湖東および湖北地方においてこの強風の影響を大きく受け、当地域の琵琶湖および余呉湖では、風浪が異常に高くなり、風下に当たる湖岸は浸食被害を受けた。

【4月27日9時の天気図】



【4月28日9時の天気図】



※ L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発 表 時 刻	発表・切替・解除
強風注意報	27日14時40分	発表
強風・雷注意報	27日16時00分	切替
強風注意報	27日20時10分	〃
強風注意報	28日16時20分	〃
強風・乾燥霜注意報	28日21時30分	〃
乾燥注意報	29日06時00分	〃 (強風注意報解除)

Ⅲ 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区分	箇所	被災市町村(箇所)
河川	6	彦根市(3) 余呉町(3)

(イ) 被害金額

区分	金額(千円)
公共土木施設	437,000
〈小計〉	437,000
〈被害金額〉	437,000

◆風害(5月15日)

I 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区分	箇所	被災市町村(ha、箇所)
プラスチックハウス	1	栗東町(1)

(イ) 被害金額

区分	金額(千円)
農産被害	118
〈小計〉	118
〈被害金額〉	118



雷 害

◆雷害（7月22日）

I 気象の概要

南海上から暖湿気流が入って大気の状態が不安定となり雷が発生、落雷や短時間の強雨があった。

II 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区 分	箇所	被災市町村（箇所）
浄水機	1	秦荘町（1）

(イ) 被害金額

区 分	金額（千円）
農林水産施設	2,000
〈小 計〉	2,000
〈被害金額〉	2,000

平成 2 年

(1990年)

気象概況

年明けて天気は周期的に変化した。1月に入っても日本付近の冬型気圧配置は長続きせず、気温は平年並で経過した。下旬に本州の東海上で低気圧が発達したため、冬型の気圧配置となり、北部で雪が降った。2月に入っても高温が続いた。11日に低気圧が発達しながら日本海を東進したため、南寄りの風が強まり気温が上昇し、近畿地方では平年（2月27日）より16日早い春一番が吹いた。3月に入っても引き続き高温が続き、3月23日に桜（ソメイヨシノ）が開花、平年（4月5日）より13日も早い最早記録となった。5月中旬に梅雨の走りが現われ、近畿地方は5月31日（平年6月8日）に梅雨入りした。7月に入り中旬から太平洋高気圧の張り出しが強まり、近畿地方は7月18日に梅雨明け（平年7月17日）した。梅雨明け後は太平洋高気圧の強い状態が続き猛暑となった。8月から9月上旬にかけて太平洋高気圧が強く残暑が厳しかった。

9月中旬に低気圧や活発な秋雨前線が南下し秋の長雨となった。中旬末には大型台風第19号が本州を縦断し、各地に大きな被害を与えた。30日に台風第20号が和歌山県白浜町付近に上陸し、その後勢力を弱めながら東海付近から銚子沖に抜けた。又、10月8日に台風第21号が南岸沿いに進み、和歌山県に上陸した。中旬頃移動性高気圧が帯状となって広く覆ったので秋晴れが続いた。11月は天気は周期的に変化した。30日に台風第28号が和歌山県に上陸して、北東進した。季節はずれの台風第28号は、戦後の台風観測では一番遅い記録となった。10月、11月も気温の高い状態は持続し、12月に入っても温暖な気候が続いた。

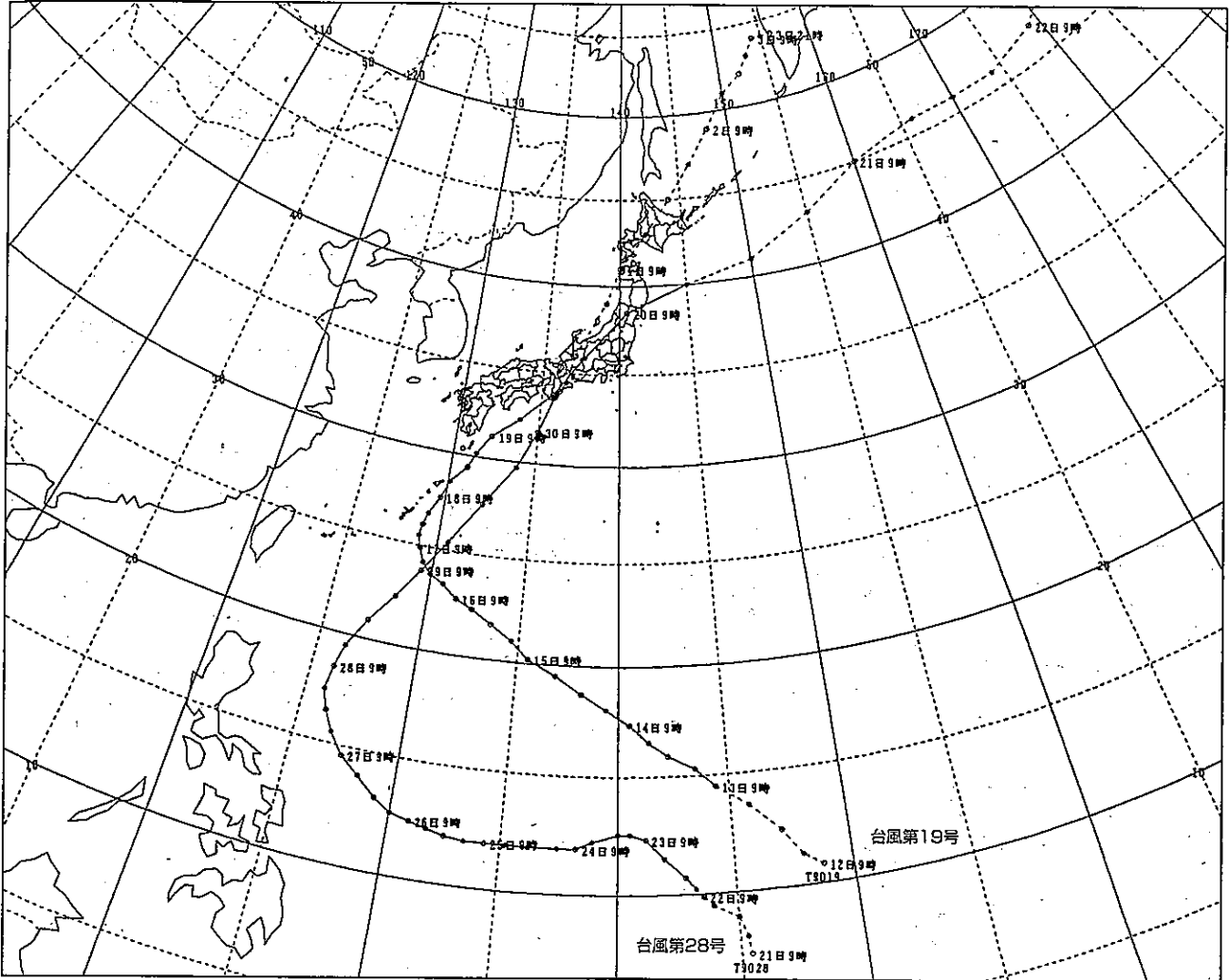


台 風

(1) 台風の概況

台風は29個発生しており、発生数に関しては月別に見ても平均的な年であった。しかし、6個の台風が8月から11月にかけて日本に上陸し、平年(1951年～1980年)の上陸数3.0個を3個上回って過去最多となった。また、台風第19号～21号は3個連続して和歌山県に上陸し、第28号と合わせて4個の台風が和歌山県の同一地点に上陸している。11月30日に上陸した第28号は、上陸時期の最晩記録を更新した。

【日本に影響のあった台風の経路】



《彦根地方気象台における極値》

台風番号	最低気圧	最大風速	最大瞬間風速
台風第19号	972.5hPa	NW 16.6m/s	NE 30.1m/s
台風第28号	988.7hPa	NNW 12.4m/s	NNW 220.7m/s

(2) 災害の状況

◆秋雨前線・台風第19号(9月15日～9月20日)

I 気象の概要

9月12日09時にグアム島の南東海上で発生した弱い熱帯低気圧は、北西に進んで13日09時に台風第19号となった。その後発達しながら北西進を続けたが、16日には沖縄の南東で急速に発達して大型で猛烈な強さになった。17日から18日にかけて沖縄近海を通過した後、進路を北東に変え次第に加速し、19日20時過

ぎに大型で強い勢力を保って和歌山県白浜町の南に上陸した（このときの中心気圧は945hPa）。上陸後は本州を縦断して、20日15時に三陸沖で温帯低気圧に変わった後、千島の東へ去った。上陸時の中心気圧が950hPa以下となった台風は、1971年の台風第23号以来、19年ぶりであった。彦根における最低気圧は972.5hPa（19日23時57分）、最大風速は北西の風16.6m/s（20日00時50分）、最大瞬間風速は北東の風30.1m/s（19日23時21分）であった。

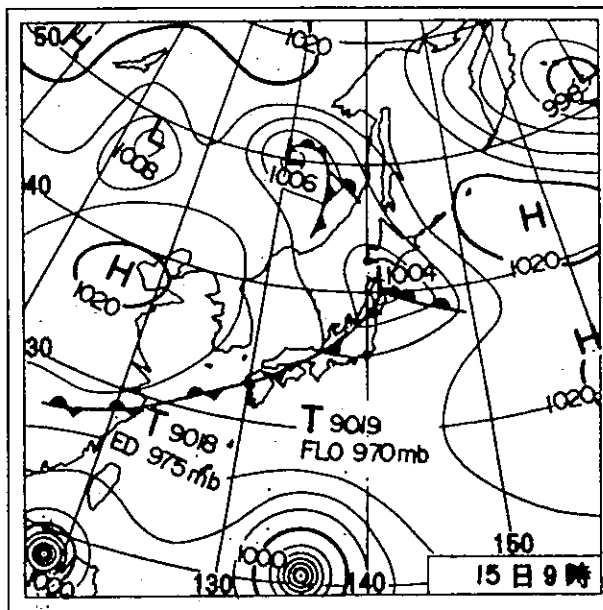
◇大雨（9月15日）

前線を伴った低気圧が秋田沖を東北東進、15日の早朝には秋雨前線が南下して大気の状態が不安定となって県下全域で発雷し、局地的に大雨となった。

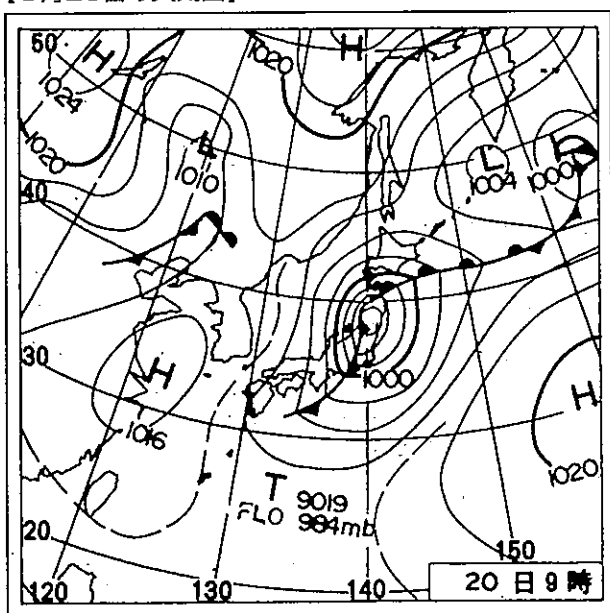
◇大雨（9月19日～20日）

台風第19号は19日12時には足摺岬の南約120kmに達し、20時過ぎには和歌山県白浜町の南に上陸し、北東進して北陸地方を縦断して三陸沖に出た。滋賀県は19日夕方頃より暴風域に入って風雨が強くなった。

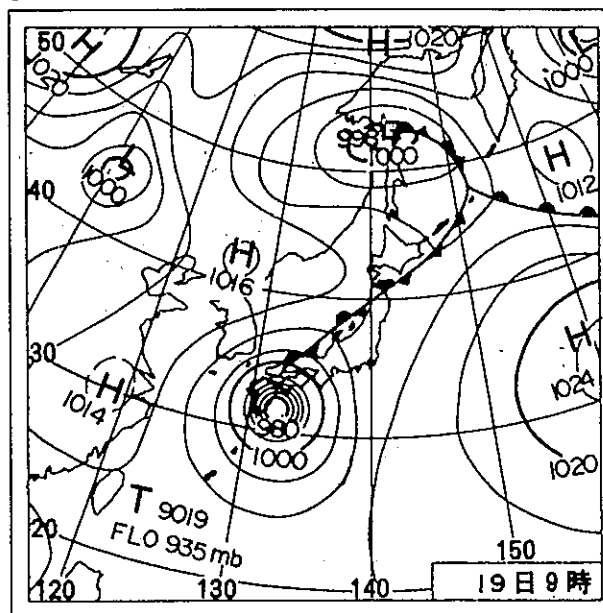
【9月15日の天気図】



【9月20日の天気図】



【9月19日の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

9月19日の早朝より、台風を取り巻く強い雨雲の影響で、降り始めた雨は、風と共に強くなり、和歌山県白浜町に上陸した20時頃より次第に雨足が強くなり、県下の全域が台風の暴風圏内に入った。このため、降雨も一段と強まり、比良、鈴鹿山系を中心に、時間雨量20～80mmの強い雨が、20時頃から12時頃にかけて連続して降り、最大時間雨量は、大津市（山中）で50mm、土山町（土山）で80mm、日野町（熊野）で58mm、永源寺町（政所）で62.5mm、多賀町（霜ヶ原）で69mm、山東町（柏原）で56mmなどの強い降雨を記録した。また、最大24時間雨量も、県下のほぼ全域で100mmを越す豪雨となり、中でも、朽木村（針畑）で373mm、大津市（葛川）で328mm、土山町（土山）で398mm、永源寺町（政所）で426mm、多賀町（霜ヶ原）で362mmの近年にない極めて激しい豪雨を記録した。

これらの豪雨による河川の出水により、家屋の損壊、床上浸水、道路の冠水や田畑の冠水等の一般被害および堤防の決壊欠損や道路の欠損等の公共土木施設に甚大な被害が発生した。

◇大雨(9月15日)

近江八幡では07時までの1時間に61mm、08時までの1時間に53mm、09時までの1時間に50mmを観測し、霜ヶ原でも09時までの1時間に47mmを観測した。

日降水量は近江八幡183mm、霜ヶ原116mmであった。

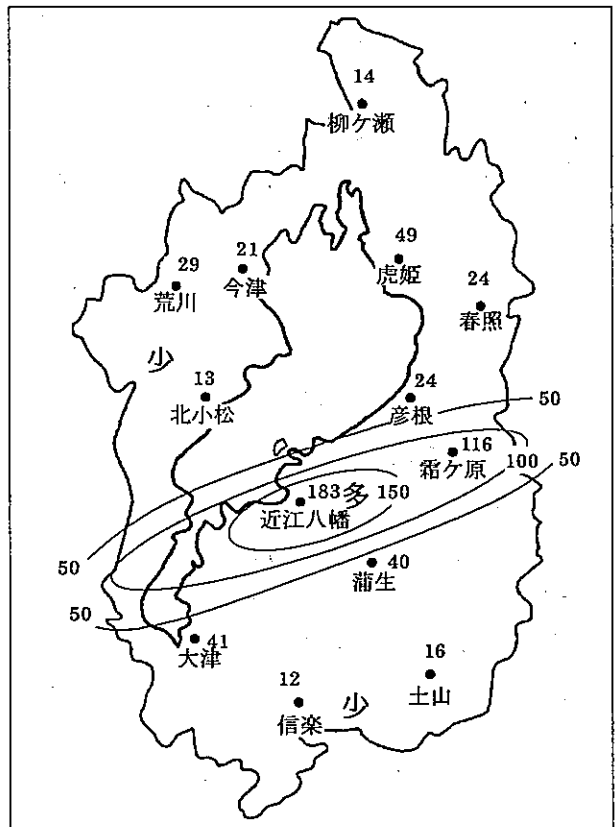
◇大雨(9月19日~20日)

19日から20日にかけての降水量は100~350mmに達した。

《気象台観測所雨量》 単位(mm)
地域気象観測所における降水量
(9月15日)

観測所	日	15日
柳ヶ瀬		14
今津		21
虎姫		49
荒川		29
春照		24
北小松		13
彦根		24
近江八幡		183
霜ヶ原		116
蒲生		40
大津		41
信楽		12
土山		16

【降水量分布図】 単位(mm)
(9月15日)



《气象台観測所雨量》

単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

(9月19日~20日)

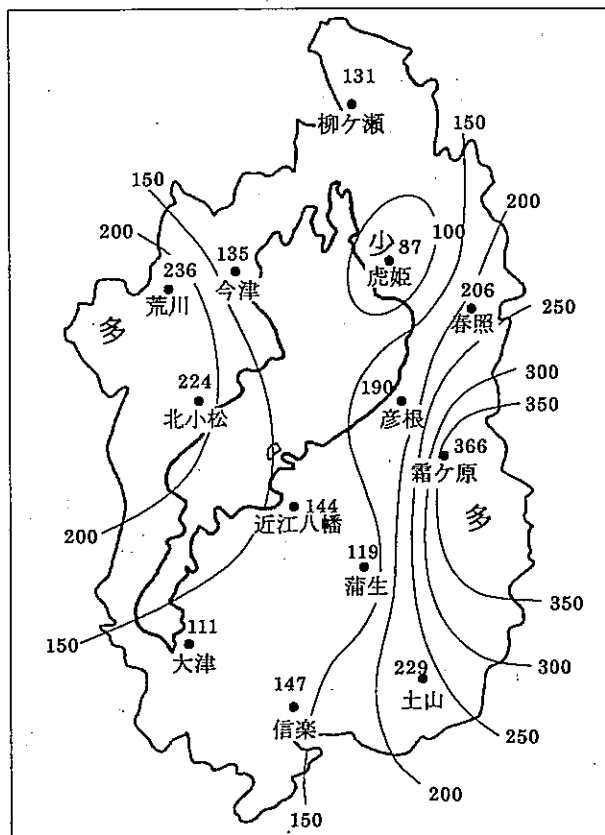
観測所	日	19日	20日	計
柳ヶ瀬		71	60	131
今津		108	27	135
虎姫		77	10	87
荒川		168	68	236
春照		185	21	206
北小松		188	36	224
彦根		173	17	190
近江八幡		133	11	144
霜ヶ原		341	25	366
蒲生		106	13	119
大津		111	-	111
信楽		126	21	147
土山		201	28	229

-=なし

【降水量分布図】

単位 (mm)

(9月19日~20日)



Ⅲ 出水の状況

9月19日の早朝より、台風を取り巻く強い雨雲の影響で、降り始めた雨は、風と共に強くなり、20時頃より次第に雨足が強くなり、県下の全域が台風の暴風圏内に入った。このため、降雨も一段と強くなり、比良、鈴鹿山系を中心に、20時頃から00時頃にかけて時間雨量20~80mmの強い雨が連続して降り、激しい豪雨に見舞われた。降り始めからの総雨量は、永源寺町(政所)での431.5mmを始め、300mm以上を記録する観測箇所が続出した。

このため、県下の河川は、19日20時頃より各所で増水し、安曇川をはじめ、野洲川、日野川、愛知川、犬上川、姉川等県下の主要な河川は、軒並み通報水位、警戒水位をはるかに越える異常な水位上昇となったため、水防本部では、沿川市町村に対し、水防警報を発令し、水防団の出動を促した。しかし、水位は、依然として上昇し続けたため、市町長は水防活動を実施するとともに沿川住民に対し、避難命令を発令した。

この台風による大雨で、9月20日01時30分頃、神崎郡能登川町今地先、県道大津能登川長浜線の八幡橋下流約50mの左岸が決壊。また、30分後には約40km下流の同町栗見新田地先の愛知川橋付近の左岸が決壊し、死者が出るなどの甚大な被害をもたらした。

《主要河川水位表》

河川名	観測所	県・市・町・村土木事務所名	警戒水位(m)	最高水位(m)	日時
真野川	真野川橋	大津土木	1.50	2.00	19日23時00分
草津川	旭橋	草津土木	0.80	1.58	19日24時00分
野洲川	水口橋	水口土木	1.35	1.47	20日01時00分
杣川	北杣橋下流左岸	水口土木	3.00	3.74	19日24時00分
日野川	増田橋	八日市土木	2.25	2.41	19日24時00分
日野川	桐原橋	八日市土木	3.00	6.70	20日02時20分
愛知川	紅葉橋	八日市土木	3.44	4.19	19日24時00分
愛知川	御幸橋	彦根土木	1.50	3.01	20日01時15分
芹川	芹川旭橋	彦根土木	1.30	2.17	19日01時00分
天野川	天の川橋左岸	長浜土木	1.50	2.50	19日24時00分
姉川	難波橋右岸	長浜土木	2.70	3.91	20日03時00分
高時川	川合	木之本土木	2.70	2.75	20日04時00分
安曇川	船橋	今津土木	1.70	2.30	19日24時00分
安曇川	常安橋	今津土木	1.50	3.20	20日02時00分

IV 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発表時刻	発表・切替・解除
強風注意報	19日06時35分	発表
大雨・洪水・強風・雷注意報	19日08時55分	切替
大雨・洪水警報・強風・雷注意報	19日11時45分	〃
暴風・大雨・洪水警報・雷注意報	19日14時10分	〃
洪水警報・大雨・強風注意報	20日03時40分	〃
強風・洪水注意報	20日10時25分	〃
〃	20日16時55分	解除

(イ) 気象情報

種 類	発表時刻	種 類	発表時刻
台風に関する情報第1号	17日16時45分	台風に関する情報第9号	19日22時00分
台風に関する情報第2号	18日10時20分	台風に関する情報第10号	19日22時50分
台風に関する情報第3号	18日16時00分	台風に関する情報第11号	19日23時55分
台風に関する情報第4号	19日10時00分	台風に関する情報第12号	20日00時55分
台風に関する情報第5号	19日16時15分	台風に関する情報第13号	20日01時55分
台風に関する情報第6号	19日18時55分	台風に関する情報第14号	20日02時55分
台風に関する情報第7号	19日19時55分	台風に関する情報第15号	20日04時00分
台風に関する情報第8号	19日20時50分		

(ウ) 県の対策状況

種 類	配備時刻	配備・切替・解除
第1号警戒体制	19日08時55分	配備
第2号警戒体制	19日11時45分	切替
第1号警戒体制	20日10時25分	〃
〃	20日16時55分	解除

V 被害の状況

(ア) 人的被害

区分	人	被災市町村(人)
死者	1	能登川町(1)
負傷者 軽傷	2	湖東町(1) 安曇川町(1)

(イ) 住家被害

区分	棟	世帯	人	被災市町村(棟・世帯・人)	
住家被害	一部破損	174	180	638	彦根市(18・26・79) 長浜市(15・15・30) 八日市市(26・26・71) 草津市(1・1・4) 栗東町(2・2・7) 水口町(2・2・6) 土山町(2・2・10) 甲賀町(23・25・97) 安土町(2・2・6) 日野町(3・3・13) 竜王町(3・3・15) 能登川町(5・5・23) 秦荘町(5・5・20) 愛知川町(9・9・39) 豊郷町(2・2・9) 甲良町(2・2・10) 多賀町(9・8・37) 山東町(13・12・55) 伊吹町(6・6・22) 米原町(5・5・19) 近江町(3・3・9) びわ町(4・4・20) 今津町(13・11・35) 朽木村(1・1・2)
	床上浸水	180	179	594	彦根市(27・29・98) 近江八幡市(4・4・14) 永源寺町(2・2・6) 能登川町(72・70・210) 秦荘町(1・1・4) 甲良町(3・3・18) 多賀町(42・41・138) 山東町(2・2・5) 米原町(19・19・67) 朽木村(1・1・5) 安曇川町(7・7・29)
	床下浸水	1,428	1,427	5,093	彦根市(349・367・1239) 長浜市(4・4・8) 近江八幡市(173・173・665) 八日市市(29・28・109) 草津市(2・2・7) 守山市(31・31・114) 野洲町(4・4・14) 水口町(1・1・3) 土山町(11・11・50) 甲賀町(10・10・33) 安土町(46・46・141) 日野町(8・8・21) 竜王町(1・1・3) 永源寺町(4・4・10) 五個荘町(25・25・93) 能登川町(102・99・378) 愛東町(4・4・20) 湖東町(4・4・13) 秦荘町(18・15・44) 甲良町(37・37・148) 多賀町(277・271・944) 山東町(64・64・256) 伊吹町(17・17・61) 米原町(173・173・610) 近江町(27・21・86) びわ町(1・1・3) 今津町(2・2・8) 朽木村(4・4・12)
	公共建物	44			彦根市(3) 八日市市(2) 栗東町(1) 中主町(3) 土山町(2) 甲賀町(4) 甲南町(1) 安土町(2) 能登川町(2) 湖東町(8) 秦荘町(1) 甲良町(1) 多賀町(4) 山東町(1) 米原町(3) 近江町(2) 今津町(4)
その他	422			彦根市(114) 長浜市(14) 八日市市(50) 守山市(2) 栗東町(3) 土山町(4) 甲賀町(9) 安土町(3) 日野町(7) 竜王町(4) 永源寺町(1) 五個荘町(2) 能登川町(64) 愛東町(10) 湖東町(13) 秦荘町(17) 豊郷町(2) 甲良町(3) 多賀町(10) 山東町(4) 伊吹町(17) 米原町(3) 近江町(32) マキノ町(10) 今津町(2) 安曇川町(5) 高島町(2) 新旭町(15)	

(ウ) 農林水産・土木関係被害

区分	ha	箇所・隻	戸・回線	被災市町村(ha・箇所)
田	流失・埋没	185.17		彦根市(1) 長浜市(16) 八日市市(0.1) 志賀町(0.03) 土山町(1.76) 甲賀町(0.21) 甲南町(0.15) 信楽町(0.15) 日野町(0.13) 永源寺町(0.19) 能登川町(13.8) 秦荘町(0.05) 甲良町(0.9) 多賀町(25) 山東町(15) 浅井町(110) 今津町(0.6) 朽木村(0.7) 高島町(0.2)
	冠水	2,746.47		大津市(20.7) 彦根市(505) 長浜市(0.2) 近江八幡市(535) 八日市市(15) 草津市(10) 守山市(1) 志賀町(8.62) 栗東町(5) 中主町(12) 水口町(62) 甲賀町(60.35) 安土町(2.4) 蒲生町(2) 竜王町(50) 永源寺町(8) 五個荘町(12.6) 能登川町(550.7) 愛東町(7.6) 湖東町(102) 秦荘町(32) 甲良町(72) 多賀町(27.7) 山東町(17) 伊吹町(160) 米原町(268) 近江町(7) 浅井町(1) びわ町(50) 高月町(60) 西浅井町(30) マキノ町(6.2) 今津町(2.1) 朽木村(16.3) 安曇川町(18) 高島町(6) 新旭町(3)
畑	流失・埋没	0.47		土山町(0.33) 信楽町(0.14)
	冠水	413.85		彦根市(2) 近江八幡市(5) 八日市市(1) 中主町(82.5) 水口町(0.3) 甲賀町(1) 安土町(2) 竜王町(0.05) 永源寺町(4) 愛東町(0.1) 湖東町(0.4) 甲良町(10) 米原町(13) 近江町(2) 虎姫町(14) びわ町(40) 高月町(110) 西浅井町(16.4) 朽木村(1.5) 安曇川町(108) 新旭町(0.5)
そ	学校		141	大津市(60) 彦根市(19) 長浜市(7) 八日市市(14) 石部町(2) 甲南町(6) 安土町(4) 能登川町(13) 湖東町(1) 秦荘町(2) 多賀町(4) 山東町(2) 米原町(1) 余呉町(1) 今津町(5)
	病院		1	彦根市(1)
の	道路		470	大津市(1) 彦根市(24) 長浜市(9) 近江八幡市(2) 八日市市(20) 草津市(1) 守山市(1) 栗東町(13) 中主町(1) 野洲町(5) 甲西町(10) 水口町(1) 土山町(29) 甲賀町(48) 甲南町(5) 信楽町(5) 安土町(4) 蒲生町(3) 日野町(59) 竜王町(7) 永源寺町(24) 愛東町(14) 湖東町(5) 秦荘町(33) 豊郷町(2) 甲良町(1) 多賀町(41) 山東町(6) 伊吹町(12) 米原町(25) 近江町(8) 木之本町(3) 今津町(22) 朽木村(25) 高島町(1)
	橋りょう		21	彦根市(2) 甲西町(1) 土山町(1) 蒲生町(2) 日野町(3) 能登川町(1) 秦荘町(2) 多賀町(6) 近江町(1) マキノ町(1) 朽木村(1)
他	河川		321	大津市(4) 彦根市(10) 長浜市(6) 八日市市(7) 草津市(3) 守山市(5) 中主町(2) 石部町(4) 甲西町(5) 水口町(1) 土山町(4) 甲南町(6) 信楽町(20) 安土町(5) 蒲生町(1) 日野町(15) 竜王町(8) 永源寺町(10) 五個荘町(2) 豊郷町(7) 愛東町(8) 湖東町(3) 秦荘町(10) 多賀町(2) 山東町(61) 伊吹町(26) 米原町(10) 近江町(7) 浅井町(1) びわ町(3) 余呉町(1) マキノ町(2) 今津町(14) 朽木村(28) 安曇川町(5) 高島町(14) 新旭町(1)
	砂防		8	秦荘町(3) 伊吹町(1) 近江町(3) 竜王町(1)
	清掃施設		3	甲賀町(1) 能登川町(1) 余呉町(1)
	崖くずれ		515	大津市(1) 彦根市(3) 八日市市(1) 土山町(14) 甲賀町(154) 甲南町(2) 安土町(4) 日野町(12) 五個荘町(7) 能登川町(2) 愛東町(5) 秦荘町(41) 甲良町(5) 多賀町(239) 山東町(3) 米原町(6) 近江町(2) 今津町(4) 朽木村(10)

区分	ha	箇所・隻	戸・回線	被災市町村
その他	鉄道不通		4	彦根市(2) 能登川町(1) 愛知川町(1)
	被害船舶		3	中主町(3)
	水道		321	彦根市(4) 甲賀町(16) 能登川町(40) 米原町(2) 朽木村(221) 高島町(38)
	電話		297	彦根市(1) 八日市市(217) 甲賀町(12) 秦荘町(64) 愛知川町(1) 高島町(2)
	電気		1,093	彦根市(5) 八日市市(854) 甲賀町(34) 甲南町(150) 朽木村(49) 高島町(1)
	ガス		1	彦根市(1)
	ブロック塀		65	彦根市(9) 長浜市(8) 八日市市(20) 甲賀町(1) 安土町(1) 日野町(6) 竜王町(5) 能登川町(3) 愛東町(1) 湖東町(5) 秦荘町(5) 今津町(1)
	ビニールハウス		87	八日市市(42) 秦荘町(6) 今津町(27) 高島町(12)
その他		560	彦根市(87) 八日市市(169) 志賀町(9) 中主町(3) 野洲町(2) 安土町(7) 蒲生町(2) 日野町(29) 湖東町(37) 愛知川町(3) 甲良町(1) 山東町(83) 五個荘町(21) 伊吹町(9) 浅井町(8) 今津町(6) 朽木村(62) 高島町(14) 新旭町(8)	

(工) り災者数・り災世帯数

名称	り災規模	被災市町村
り災世帯数	世帯 127	彦根市(1) 永源寺町(2) 能登川町(70) 秦荘町(1) 甲良町(2) 多賀町(41) 山東町(2) 朽木村(1) 安曇川町(7)
り災人数	人 401	彦根市(2) 永源寺町(6) 能登川町(210) 秦荘町(4) 甲良町(2) 多賀町(138) 山東町(5) 朽木村(5) 安曇川町(29)

(オ) 被害金額

区分	金額(千円)
公立文教施設	126,825
農林水産業施設	3,343,025
公共土木施設	10,494,890
その他の公共施設	232,237
〈小計〉	14,196,977
農産被害	2,502,724
林産被害	2,255,238
畜産被害	9,460
水産被害	124,207
商工被害	2,757,475
その他	436,962
〈被害総額〉	22,283,043

(カ) その他の状況

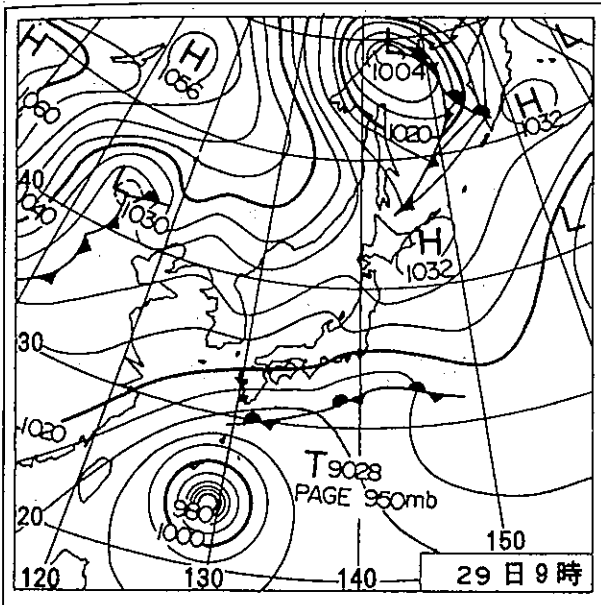
原因	箇所	規制種別
台風第19号	町道大橋八反甲線	通行止
台風第19号	町道上鉤上砥山線	通行止
台風第19号	町道大橋総線	通行止
崖くずれ	山東町清滝	一時通行止
法面崩壊	山東町須川	無
法面崩壊	山東町長岡	無
法面崩壊	山東町清滝	無
崖くずれ	山東町柏原	一時通行止
崖くずれ	山東町山室	一時通行止

◆台風第28号(11月29日)

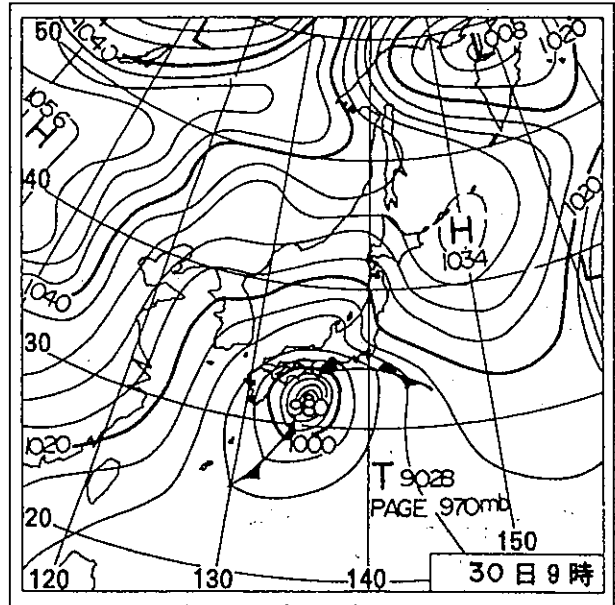
I 気象の概要

11月21日09時にグアム島の南海上で発生した弱い熱帯低気圧は、北西に進んで22日15時に台風第28号になった。発達しながら西進し、フィリピンの東海上で進路を北東に変えた後、29日に沖縄の南東海上を通過、30日の14時頃大型で並の強さを保って和歌山県白浜町の南に上陸した。上陸後の18時には温帯低気圧に変わり日本海へ出て、12月4日03時カムチャッカ半島で消滅した。彦根における最低気圧は988.7hPa(30日16時40分)、最大風速は北北西の風12.4m/s(30日19時20分)、最大瞬間風速は北北西の風20.7m/s(30日19時16分)であった。

【11月29日9時の天気図】



【11月30日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

29日は台風第28号が沖縄の東を北上し、30日14時頃和歌山県白浜町付近に上陸したあと、紀伊半島の東部を北東進し、18時に温帯低気圧となった。

滋賀県も30日午後から暴風域に入り風雨が強くなった。

29日から30日にかけての降水量は土山で163mm、他の地域でも50~100mmに達した。

《気象台観測所雨量》

単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

(11月29日～30日)

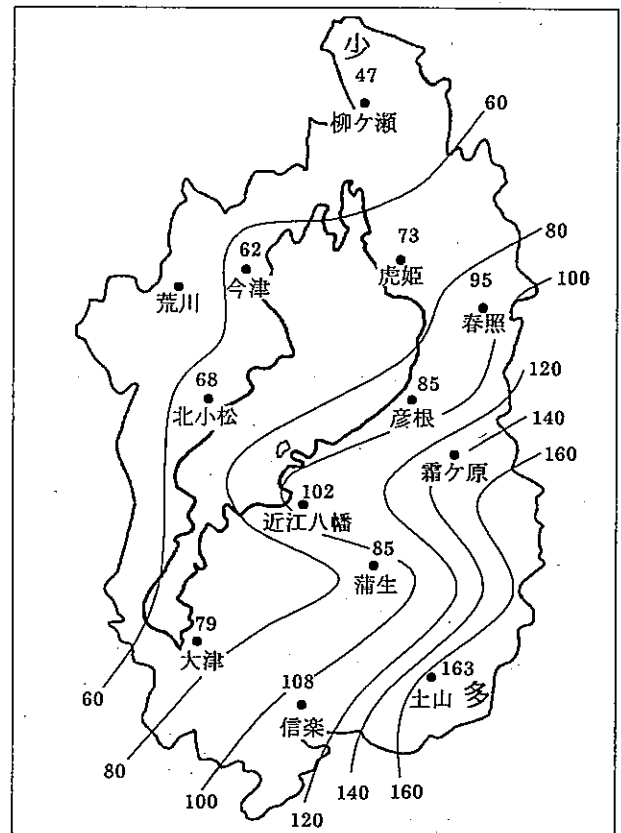
観測所	日	29日	30日	計
柳ヶ瀬		-	47	47
今津		-	62	62
虎姫		-	73	73
荒川		-	-	-
春照		1	94	95
北小松		1	67	68
彦根		-	85	85
近江八幡		2	100	102
霜ヶ原		-	-	-
蒲生		1	84	85
大津		2	77	79
信楽		9	99	108
土山		11	152	163

-=なし

【降水量分布図】

単位 (mm)

(11月29日～30日)



Ⅲ 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発 表 時 刻	発 表・切 替・解 除
大雨・洪水・強風注意報	30日05時40分	発表
暴風警報・大雨・洪水注意報	30日11時45分	切替
暴風警報	30日20時55分	〃
強風注意報	30日22時10分	〃
〃	12月2日05時40分	解除

(イ) 気象情報

種 類	発 表 時 刻	種 類	発 表 時 刻
台風に関する情報第1号	29日16時20分	台風に関する情報第7号	30日16時00分
台風に関する情報第2号	30日07時20分	台風に関する情報第8号	30日17時05分
台風に関する情報第3号	30日10時15分	台風に関する情報第9号	30日17時50分
台風に関する情報第4号	30日13時05分	台風に関する情報第10号	30日19時00分
台風に関する情報第5号	30日13時55分	台風に関する情報第11号	30日20時00分
台風に関する情報第6号	30日15時00分		

(ウ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	配 備・切 替・解 除
第1号警戒体制	30日05時40分	配備
第2号警戒体制	30日11時45分	切替
第2号警戒体制	30日22時10分	解除

IV 被害の状況

(ア) 住家被害

区分	棟	世帯	人	被災市町村(棟・世帯・人)
床下浸水	3	3	7	水口町(1・1・2) 近江八幡市(1・1・4) 米原町(1・1・1)
非住家 その他	2			近江八幡市(2)

(イ) 農林水産・土木関係被害

区分	ha	箇所	被災市町村(ha・箇所)
畑 冠水	1		八日市市(1)
道 路		4	水口町(1) 甲南町(1) 甲賀町(1) 甲西町(1)
河 川		5	甲西町(2) 信楽町(3)
崖くずれ		2	信楽町(1) 水口県事務所管内(1)
ビニールハウス		15	草津市(5) 守山市(1) 中主町(2) 野洲町(1) 近江八幡市(6)

(ウ) その他の状況

区分	箇所	被災市町村
道 路	2	甲賀町(2)

(エ) 被害金額

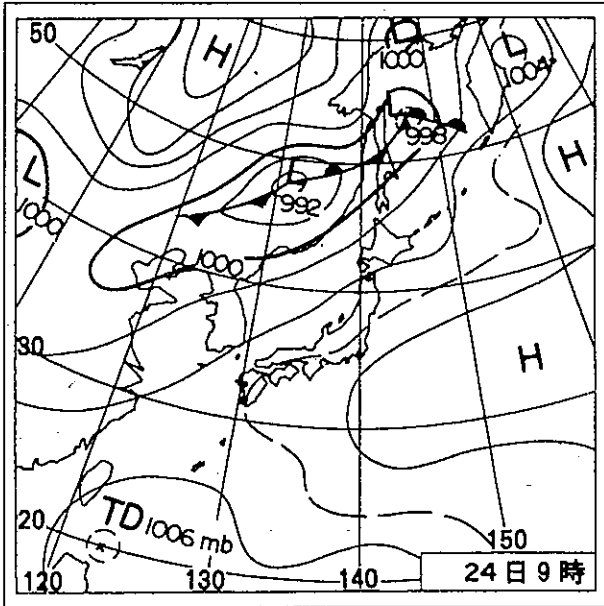
区分	金額(千円)
農林水産業施設	16,000
公共土木施設	7,531
〈小計〉	23,531
農産被害	1,462
〈被害総額〉	24,993

◆大雨（7月24日～25日）

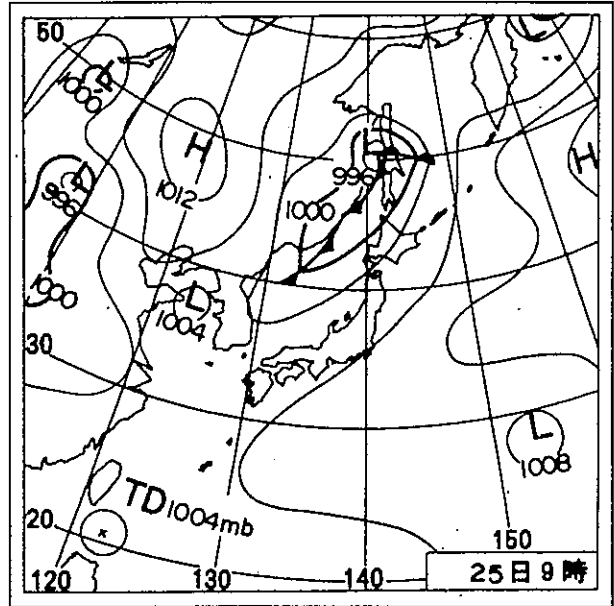
I 気象の概況

高気圧の縁辺で暖湿気流が入り、上空では寒気が居すわり大気の状態が不安定となったため、県下全域で発雷しひょうを伴って大雨となった。

【7月24日9時の天気図】



【7月25日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

7月24日早朝から降り始めた雨は、次第に激しくなり、県東部を中心に、時間雨量が20mmを越える強い雨を記録した。

中でも、日野、水口地方を中心に激しい雨に見舞われ、日野町（河原）で最大24時間雨量133.5mmを、また、最大時間雨量も日野町（河原）で70.5mm、日野（熊野）で47.0mm、水口町（八坂）で39.5mmと非常に強い雨を記録した。

この豪雨により、日野、水口地方の河川は増水し、各所で溢水、氾濫し、多数の床下浸水、道路の冠水や田畑の冠水、溢水による鉄道線路の浸水等の一般被害をはじめ、河岸欠損、道路の欠損等の公共土木施設に甚大な被害が発生した。

《気象台観測所雨量》

単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

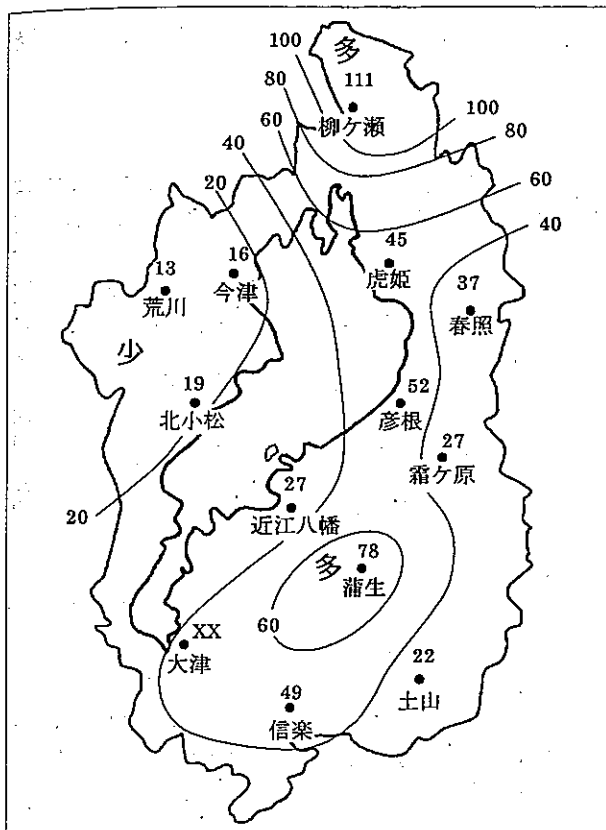
(7月24日～25日)

観測所	日	24日	25日	計
柳ヶ瀬		71	40	111
今津		13	3	16
虎姫		10	35	45
荒川		3	10	13
春照		27	10	37
北小松		4	15	19
彦根		51	1	52
近江八幡		27	0	27
霜ヶ原		26	1	27
蒲生		78	0	78
大津		9	XX	9
信楽		49	0	49
土山		22	0	22

XX=欠測 0=1mm未満

【降水量分布図】
(7月24日~25日)

単位(mm)



Ⅲ 出水の状況

7月24日早朝から大気不安定により降り始めた雨は、次第に激しくなり、滋賀県東部を中心に時間雨量20mmを越える強い雨を記録した。

中でも日野町(河原)で最大24時間雨量133.5mm、最大時間雨量70.5mmを、また、日野町(熊野)で47.0mm、水口町(八坂)で39.5mmの最大時間雨量を記録するなど、激しい豪雨に見舞われました。

この豪雨により、日野、水口地方の河川は増水し、各所で溢水、氾濫し、日野町で118戸の床下浸水、道路の冠水による通行止め、7.26haの田畑の冠水、溢水による鉄道線路の浸水等の一般被害をはじめ、日野町、水口町等では、河岸欠損、道路の欠損等の公共土木施設に甚大な被害が発生した。

《主要河川水位表》

河川名	観測所	直轄 土木事務所名	警戒水位(m)	最高水位(m)	日時
日野川	桐原橋	八日市土木	3.0	4.0	24日11時

Ⅳ 被害の状況

(ア) 住家被害

区分	棟	世帯	人	被災市町村(棟・世帯・人)
一部破損	2	2	3	日野町(2・2・3)
床下浸水	121	121	484	水口町(2・2・11) 彦根市(1・1・6) 日野町(118・118・467)
非住家	公共建物	1		日野町(1)
	その他	3		日野町(1)

(イ) 農林水産・土木関係被害

区分	ha	箇所	被災市町村
田	流失・埋没	2	日野町(2)
	冠水	8.8	日野町(8.8)
畑	冠水	2.06	日野町(2.06)
学校		1	水口町(1)
道路		23	日野町(2.3)
橋りょう		1	日野町(1)
河川		3	日野町(2) 蒲生町(1)
崖くずれ		7	日野町(7)
水道		111	日野町(111)
電気		1	日野町(1)
その他		7	日野町(6) 蒲生町(1)

(ウ) 被害金額

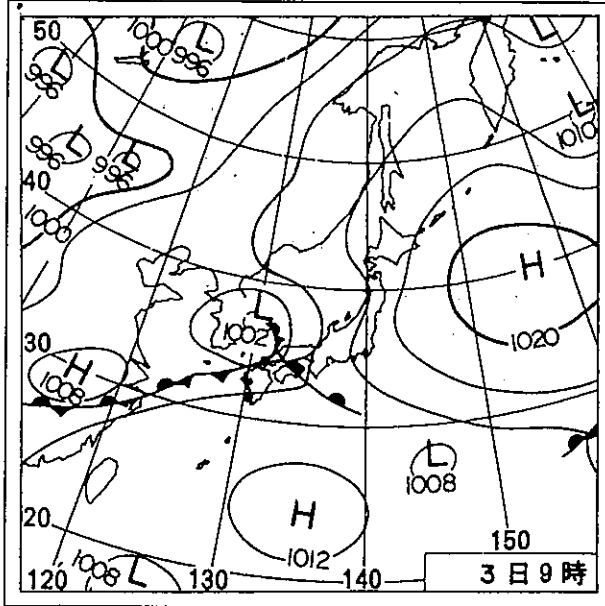
区分	金額(千円)
公立文教施設	10,141
農林水産業施設	15,852
公共土木施設	249,918
〈小計〉	275,911
農産被害	550
林産被害	10,000
《被害総額》	286,461

◆梅雨前線停滞による災害（7月3日～4日）

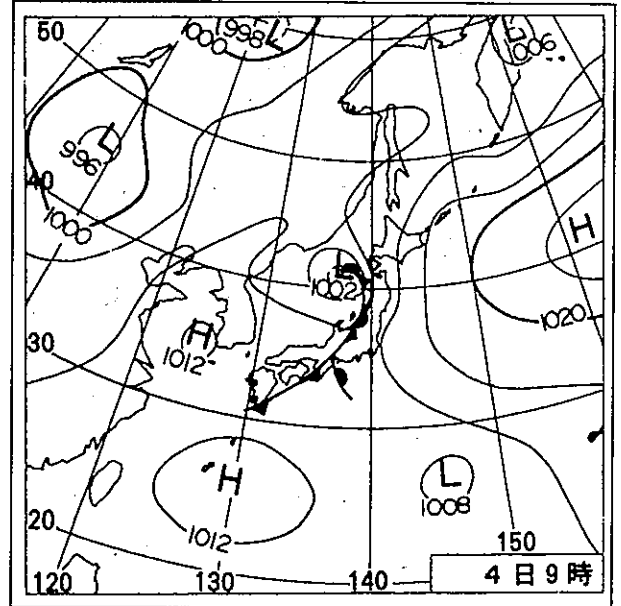
I 気象の概要

3日から4日にかけて低気圧が日本海を北東進し、梅雨前線の活動も活発となって3日を中心に大雨となった。

【7月3日9時の天気図】



【7月4日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

降水量は湖北、湖西で多かった。

《気象台観測所雨量》

単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

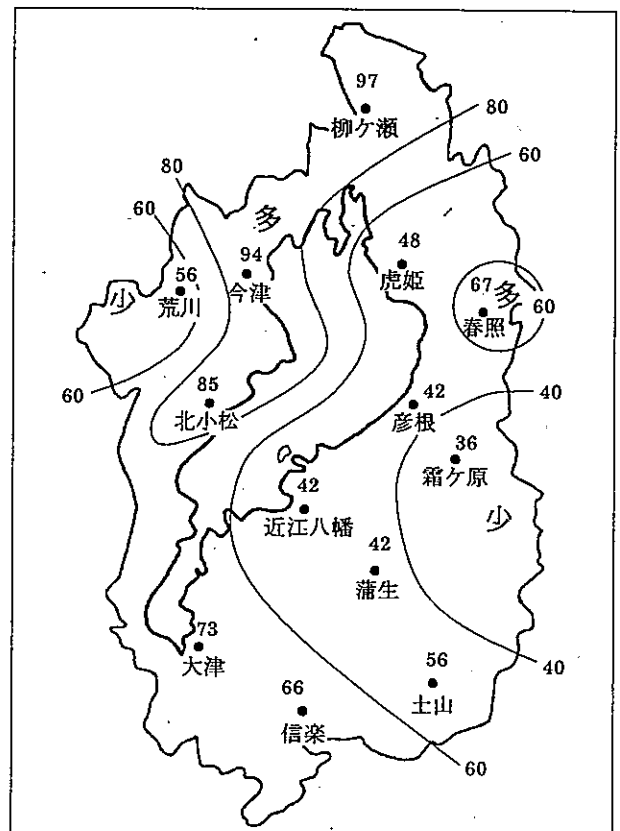
(7月3日～4日)

観測所	日	3～4日
柳ヶ瀬		97
今津		94
虎姫		48
荒川		56
春照		67
北小松		85
彦根		42
近江八幡		42
霜ヶ原		36
蒲生		42
大津		73
信楽		66
土山		56

【降水量分布図】

単位 (mm)

(7月3日～4日)



Ⅲ 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区分	箇所	被災市町村(箇所)
崖くずれ	1	安土町(1)

(イ) 被害金額

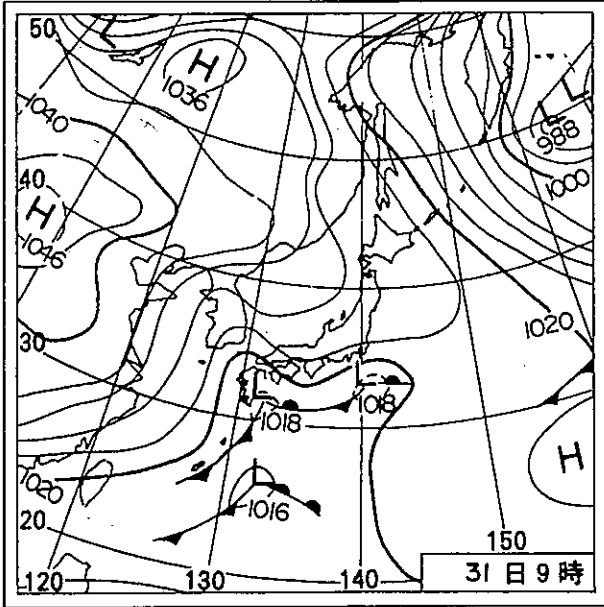
区分	金額(千円)
公共土木施設	1,000
〈被害総額〉	1,000

◆大雪（1月31日～2月1日）

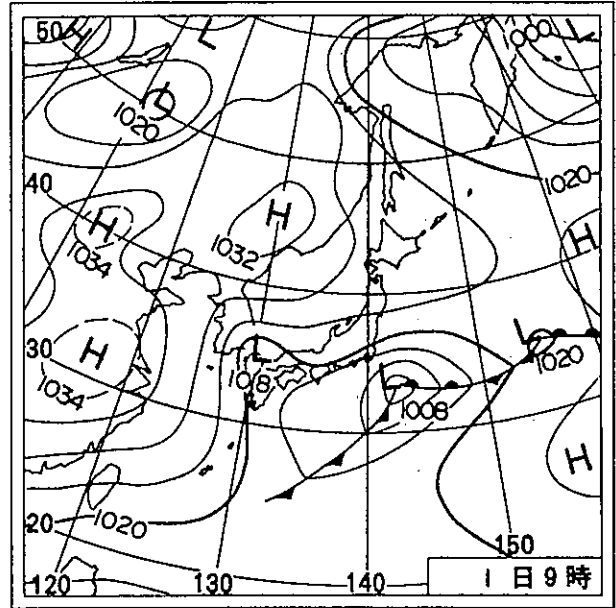
I 気象の概況

九州南海上の低気圧が発達しながら東進したため、31日夜から雨が雪に変わった。

【1月31日9時の天気図】



【2月1日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

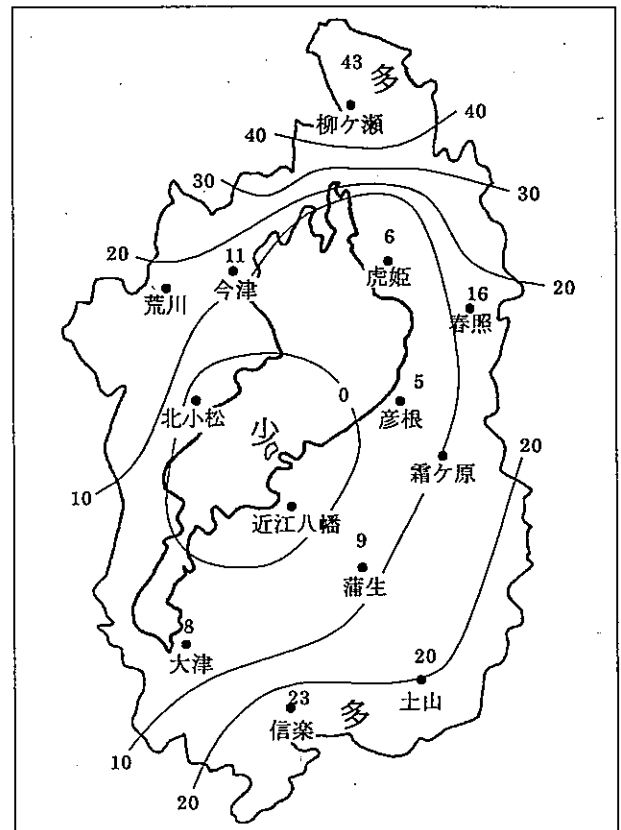
II 降雪の状況

31日の夜から雨が雪に変わり、1日朝にかけて大雪となった。

【積雪分布図】

単位 (cm)

(2月1日9時)



《気象台観測所積雪》

単位 (cm)

地域気象観測所における09時の積雪の深さ

(2月1日)

観測所	日	積雪深さ (cm)
柳ヶ瀬	43	43
今津	11	11
虎姫	6	6
荒川	-	-
春照	16	16
北小松	-	-
彦根	5	5
近江八幡	-	-
霜ヶ原	-	-
蒲生	9	9
大津	8	8
信楽	23	23
土山	20	20

-=なし

Ⅲ 被害の状況

(ア) 施設被害

市町村	施設名	被害程度	件数	被害額 (千円)
大津市	ビニールハウス	全壊	7	1,000
		小破	10	337
草津市	プラスチックハウス	大破	25	3,200
栗東町	プラスチックハウス	全壊	6	773
		小破	1	64
甲西町	ビニールハウス	全壊	3	1,200
水口町	ビニールハウス	中破	1	130
合計			52	6,704

(イ) 農作物被害

市町村	作物名	被害面積 (ha)	被害減収量 (t)	被害額 (千円)
大津市	いちご	0.01	0.1	50
草津市	ほうれんそう	0.11	0.3	92
	ねぎ	0.11	0.5	222
	だいこん	0.31	26.7	3,198
	みぶな	0.09	0.6	175
栗東町	ほうれんそう	0.08	0.2	75
	ねぎ	0.06	0.3	182
甲西町	だいこん	0.04	2	200
合計		0.81	30.7	4,194

(ウ) 被害金額

区分	金額 (千円)
農産被害	10,898
《被害総額》	10,898



ひょう害

◆降ひょう（5月8日）

I 気象の概況

本州南岸の前線上に発生した低気圧が瀬戸内を東北東進し、日本海から寒気が流れ込んで大気の状態が不安定となって雷雲が発達し、ひょうの降った所があった。

II 被害の状況

(ア) 施設被害

市町村	施設名	被害程度	件数	被害額(千円)
栗 東 町	ビニールハウス	大破	30	2,170
		中破	18	
		小破	13	
合 計			61	2,170

(イ) 農作物被害

市町村	作物名	被害面積 (ha)	被害額 (千円)
栗 東 町	ばれいしょ・いんげん豆	2.55	5,200
	ほうれんそう・ねぎ・大根・サニーレタス	2.03	4,575
	ぶどう・かき・なし・もも・くり	8.92	4,966
合 計		13.5	14,741

(ウ) 被害金額

区 分	金額 (千円)
施設被害	2,170
農作物被害	14,741
〈被害総額〉	16,911



その他

◆土砂崩れ(3月5日)

I 被害の状況

(ア) 住家被害

区分	棟	世帯	人	被災市町村
一部破損	1	1	3	大津市
非住家 公共建物	2			大津市

(イ) 農林水産・土木関係被害

区分	ha	箇所	被災市町村
崖くずれ		1	大津市

(ウ) 被害金額

区分	金額(千円)
その他	760
〈被害総額〉	760